臺灣日日新報　夕刊
一月九日

銘酒　白鹿

留任せよとの優諚を けさ犬養首相に賜ふ

首相御猶豫を乞ひ退下

（東京九日午前十時四十二分發聯合至急報）犬養首相は本日午前九時三十分陛下に拜謁、留任せよとの優諚を賜はつたが、首相は御猶豫を乞ひ退下した

首相、急遽閣議を召集

（東京九日午前十時四十分發電通至急報）犬養首相に對し優諚降下し首相は十時三十分急遽閣議を召集した

臨時緊急閣議の結果 閣員全部留任に決定

（東京九日電通至急報）優諚を拜した犬養內閣は臨時緊急閣議の結果全閣員留任に決した

優諚拜受の旨を伏奏

首相拜謁仰付けられて

（東京九日午後一時三十分發電通至急報）犬養首相は午後一時十七分官邸を出て參內陛下に拜謁仰付けられ恐懼優諚を拜受する旨伏奏した

留任の理由を聲明

（東京九日午後二時發電通至急報）全閣僚留任の理由につき犬養首相は闕下に奉答後聲明を發する筈

此上宸襟を惱まし奉るは 恐れ多しとして結局留任

臨時緊急閣議で決定するまで

【東京九日發電通至急報】犬養首相に賜はつた留任の優諚は「國務多端の際留任して國務を見よ」と仰せられた御模樣であるが、政府は國家多事時局重大の際この上宸襟を惱まし奉るは恐多しとし結局留任して國務に當ることとなる模樣である、尙辭意强固なる荒木陸相も先輩同僚の留任勸說に遂に初志を折り留任する模樣である

荒木陸相辭意を飜す

【東京九日發電通】荒木陸相は辭意頗る固かつたが遂に留任に決した

三大臣の辭表を奉呈

【東京九日發電通】前田、山本兩相は九日午前六時十五分東京驛着歸京直ちに森書記官長と會見辭表を提出した

【東京九日發電通】犬養首相は九日午前九時十分參內同三十分拜謁仰付けられ、中橋內相、山本農相、前田商相の辭表を陛下に奉呈した

中橋內相は一旦留任

進退は他日に保留せん

【東京九日發電通】中橋內相は一旦留任に決定の上その進退を他日に保留する事になる模樣である

長警視總監以下の責任者は懲戒免官か

文官懲戒委員會に付議して

【東京九日發電通】不祥事件の責任上の辭任に就て河原田內務次官、森岡警保局長、長警視總監、大竹警務部長、[illegible]官房主事、浦川丸の內、田村麴町兩警察署長等は何れも辭表を提出したが、その責任處分は事件の內容を審査した上文官懲戒委員會の議に付して決定せらるべきが長警視總監、大竹、浦川、田村三氏は懲戒免官、河原田內務次官、森岡警保局長、[illegible]等は[illegible]處分に又犯人の[illegible]關係の朝鮮知事も[illegible]を免れぬ模樣である

深更、園公を興津に訪ね 奉答內容を委曲上奏

鈴木侍從長けさ歸京して

【東京九日發電通】鈴木侍從長は勅命を奉じて八日午後八時九分東京驛より[illegible]、原田熊雄男と同車、十一時四十一分靜岡驛着田中靜岡縣知事等の出迎を受け、直に西園寺家差廻しの自動車で興津の

坐漁莊

に到り、深更にも拘らず九日午前零時五分より西園寺公と會見、陛下より御下問の次第を[illegible]、西園寺公の奉答を受け、同零時五十分にして午前一時辭去し、二時十四分靜岡驛發の列車で急遽歸京の途に就いたが、鈴木侍從長は午前六時三十五分東京驛着一旦自邸に入り午前八時半出仕、內大臣室に於て牧野內大臣と協議した上、侍從長は午前九時天皇陛下に拜謁仰せ付けられ

御下問

に對する西園寺公の奉答內容を委曲奏上する所あつた

優諚に首相感激

けさ二度拜謁を賜ふ

【東京九日發電通】犬養首相は九日午前九時十五分中橋、山本、前田三大臣の辭表を携へて參內大與に於て鈴木侍從長、牧野內府、一木宮相と會見後同じく三十分表御座所に參進、天皇陛下に拜謁仰せ付けられ三相の辭表を陛下に奉呈して退下したが、首相は再び拜謁仰せ付けられ竝に陛下は首相に對し留任せよとの優諚を賜はつた、首相は恐懼して御前を退下し十時二十分首相官邸に歸り直ちに緊急臨時閣議を召集して有がたき優諚を報告し今後の方法を協議した

天機並に御機嫌奉伺

太田總督發電

太田總督は八日午後左の如く天機並に御機嫌伺ひの電報を發した

宮內大臣宛
謹みて天機を伺ひ奉る
右御執奏を乞ふ

河井皇后宮大夫宛
謹みて御機嫌を伺ひ奉る
右御執成を乞ふ

入江皇太后宮大夫宛
謹みて御機嫌を伺ひ奉る
右御執成を乞ふ

伊太利新聞紙 聖上の御無事を祝福

【ローマ八日發電通】本日のジョルナル、イタリヤ紙は日本天皇陛下鹵簿に對し犯人逆徒が爆彈を投じたる大不祥事件を報道すると共に天皇陛下の御無事に對し深甚の祝意を表し奉つた

その日その日

○鹵簿に對し爆彈を投げし不祥[illegible]現はる、國民として恐懼且つ[illegible]に堪へざるところ

○玉座に何のお障りもあらせられざりしは何より重疊、犯人は朝鮮人であつた

○投げた爆彈の性質や投げられた箇所等から推して犯人の[illegible]も解る、正に[illegible]の仕業

○犬養內閣がその責任を感じて總辭職に出たのは已むを得ない[illegible]陛下の優諚も誠に畏多き極み

○議會は開會中である、[illegible]の經驗未もついてゐない、[illegible]の通牒も來てゐる

○犬養內閣の進退は可なり重大、兩人の認めて以て是なりとする途を擇べ

○內外の[illegible]に加へ[illegible]

○關東軍に[illegible]なる勅語を賜ふた[illegible]、以て東洋平和の基礎を確立し……と仰らる

○[illegible]軍司令官の[illegible]に曰く、日本人はどうも依賴心が强過ぎる——皆鍛えて貰かつしやい

○[illegible]

○[illegible]

千川九日偶吟

何陋庵主人

[illegible]

人事

▲楠元臺南州知事　九日夜來北（鐵道ホテル）
▲堀池佐吉氏（日糖支社理事）　九日歸臺（基隆）
▲西內貞吉氏（京都帝大敎授）　八日南部より來北（鐵道ホテル）
▲關澤健吉氏（花王石鹸本舖長瀨商會重役）　九日來臺（基隆）
▲米人ローレンス氏（テキサスオイル廈門出張所）　九日來臺（鐵道ホテル）
▲中村一造氏　八日夜行にて高雄へ歸る
▲杉本良氏（前文敎局長）　九日臺灣神社正式參拜

會事

▲臺北北署保甲協會及衛生組合總會　九日午後五時より市內蓬萊閣に於いて開催
▲臺北西區新年宴會　十日午後六時臨濟寺龍山寺內に於いて開催

無絃琴

犬養首相は大正十二年虎ノ門事件當時も山本內閣の遞信大臣として恐懼と心痛とを重ねてゐるので、今回の不祥事件では他の閣僚と違ひ特別に恐懼してゐることだらう▲あの當時[illegible]

新平內相の如き大變な意氣込みで政友會何者ぞといふ意氣で臨時議會に臨んだところ、多數を擁してゐた政友會のため帝都復興費から一億三千九百萬圓を削除され、政府や世間をしてアツと言はせたものだ、何しろあの四十七議會は復興議會と言はれた程のもので復興費の要求が主であつたのにそれを大削減されてしまつたので政府の面目は丸潰れとなつた、ここへ虎の門事件なので政府は益々重大な決心をもつに至つたのだらう——と言つてる向もある▲何しろ犬養老首相も二度も閣僚として不祥事件に逢つたので其の心事には誠に同情すべきものがあらうと見られてゐる。

怪女

（57）

今井泰三作
京極佳夕畫

英子にはそれが何うしても不服の樣子でした。

「あなたはやつぱり男に同情で味方をなさるんですわ。わたしの氣持なんぞ少しも知つては下さらないんだもの。」

「誤解をしては困ります。あなたの非難してゐる事が若し[illegible]ら、僕は[illegible]します。あなたが[illegible]見てなくさうとしたのは、それは惡い事に違ひない、しかし其點に對してはあなたの手强い肘鐵砲に會つて、充分に彼は苦汁を飮まされてゐますから、それだけでもう立派に罰せられてゐます。岡田は何も僕と[illegible]の間ではありません。[illegible]があるわけではない。[illegible]彼の肩をもつ理由はないのですから、僕の言ふ事は正しいものとして聞いて貰はなければなりません。そんな亂暴な復讐は、復讐が復讐にならない。ただあなた自身を傷つける以外の何物でもないのです。あなただつて倶樂部へ遊びに來る人であつたなら少しは倶樂部の平和といふ事も考へてもらはないと困ります。」

私は力めて議論にならないやう軟く事理を正して彼女の前に說きました。

彼女は默つて聞いてゐました。そして卓上の名入りのマッチをとつて弄んで居りました。私は[illegible]ぞと思つて更に色々と說いた上、最後に言ひました。

「ねえ英子さん。僕は敢て、[illegible]とまであなたに[illegible]ます。どうかそんな[illegible]かない復讐[illegible]に[illegible]下さい。」

私に[illegible]にマッチを一擦りして、[illegible]しました。

「[illegible]」

して改めてその上で何うとも心をきめますわ。」

私はお人好しにもそれを、彼女が私の忠告を快く受け入れてくれたものと早合點をしてしまひました、そしてその瞬間からけろりとその事は忘れきつてしまつてゐました。

それから三四日何事もなく濟みましたが、それらの日數を經て、英子がまたぶらりと倶樂部にやつて來ました。

一時半頃を過ぎると、夕飯の[illegible]の多忙さから解放されて、[illegible]倶樂部の中にはちよつと閑散にも[illegible]やつて來ます。[illegible]の前に椅子によつてゐる英子を[illegible]

默つてゐます。

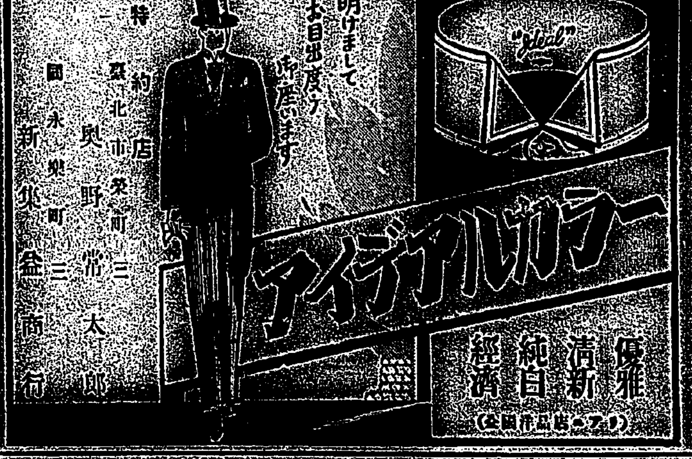
私は此頃よくさうするやうに、英子を彼樣に[illegible]して、[illegible]の一隅に取り付けてある[illegible]用のソファーの上に仰向けに寐ころんで居りました。

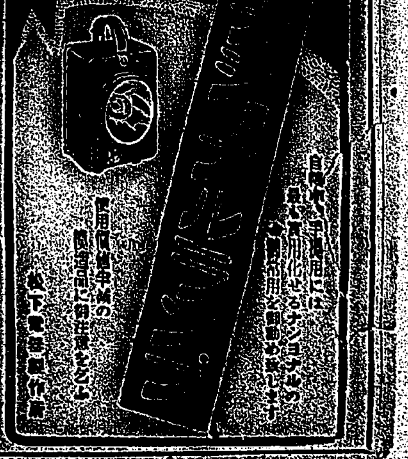
英子に彼女が若い女であると[illegible]理由のもとに、倶樂部での一番の人氣者でした。彼女を取り卷いてゐる[illegible]中に、[illegible]カフェー女か又は[illegible]の女を[illegible]ぶりで彼女に話しかけてゐました。それに對して英子はかなり得意の[illegible]相手になつてゐました。そして[illegible]れてゐるとも知らず、例の「[illegible]」である自分を[illegible]しやうといふ樣子が[illegible]んにちら〳〵と見えました。

私はそれらの[illegible]

（醫家二謹告）
日・英・米・加奈陀・獨逸・佛・專賣特許
A　AOAOAO　アオ　AOAOAO
肺結核ノ初期
肺結核ノ中期
外科的結核
眼科的結核
泌尿生殖器結核
肋膜腹膜炎
皮膚結核
氣管支喘息
痔瘻其他
發病豫防
無害確効
文獻贈呈
發賣元　[illegible]商店

日本國內の成績
（[illegible]得たる統計的數字）
有馬[illegible]
結核の豫防診斷新劑


明けまして
お目出度う
存じます
特約店
臺北市榮町三
奥野治太郎
同　永樂町三
新集益商行
アイデアルカラー
優雅
清新
純白
經濟


[illegible]
松下[illegible]作所

米の提議を排撃し
再び我主張を闡明する
外務當局の言分

【東京八日發電通】米國政府が滿洲事變に對し九國條約及不戰條約を引用し日本政府に[illegible]たる態度に出ると報ぜられてゐるに對し外務當局は左の如く觀察してゐる

何等の正式報告に接しないのでアメリカが如何なる外交手段を取り來るか見定めが附かぬが恐らく米政府は九國條約第一條第一項の原則「支那の主權獨立その領土的及び行政保全を尊重す」の規定を適用し來るものと見らる米國の新行動は（一）米上院の一部及び平和論者の滿洲に對する認識不足（二）從來の行掛りから米國內的苦況に原因するものであるから再度我が主張を闡明すると共にアメリカの誤解を排除するものである

軍部の言分

【東京八日發電通】軍部では左の如く語る

日本軍の行動は條約に抵觸せぬアメリカが九國條約を振廻はすのは大統領選擧戰に對する口ぐせだ、實行しても失敗することを知つてゐるアメリカ政府はこれが有用なだけしないたら我國の表示はいゝ加減でよいさ

米國の通牒成文は
九國條約に觸れてゐない
然し精神は兩條約に依つてゐる

【ワシントン七日發電通】アメリカ國務省より日支兩國に發せられた通牒成文は別項の通りなるも、その精神は不戰條約及び九國條約に則つて居り、その用語は多分に九國條約の內容を含んでゐるか九國條約に依れば第九條において同條約の適用を望ましと認むる事態發生したる時は關係締約國に充分にして隔意なき意見交換を爲すことを約す云々の條項あるか今回の通牒で右協議事項の適用を示唆してゐない點において九國條約には未だ觸れてゐないことが注目さる

覺書を外相に手交

【東京八日發電通】アメリカフオーブス大使は八日午後三時、犬養外相に本國政府の覺書を手交する筈

出淵大使に
覺書を手交

【東京八日發電通】出淵駐米大使より八日午前十一時三十分第一公電に依れば七日スチムソン長官は出淵大使に對して覺え書を手交しこの覺書は九國條約代表者を兩國に招き右覺書の寫しを手交することになつてゐる

と述べたと右に關し政府の意向は日本軍の行動は自衞權の發動で支那の領土的行政的保全に對しては何等關係となる行爲をなして居らず特に米國政府の外交的新行動は飽くまで排斥する方針である

フランス政府は
追隨しない
米の對日勸告に對し

【パリ八日發電通】アメリカ政府の日本に對する勸告に對しフランス政府は追隨せずと言明した

米の適用宣言
支那に筒拔け
三國公使の活動と
關係あつた事判明

【南京八日發電通】南京政府首席林森は七日陳友仁に對し最近の事態に就いては某々國とも諒解あるに付きこの際自重を望むとの電報を發した、これによれば南京政府はアメリカが九ケ國條約の適用を宣言することを事前に知悉しゐたものの如くで某々三國公使の南京に於ける活動は右に關係ありしこと明かとなつた譯である

責任は日本に
支那の對米回答內容

【南京八日發電通】中央執行委員會は八日緊急會議を開き米國の新行動開始に就き協議した結果、外交部をして米國の提議に對し回答を起草せしむるに決定した、陳友仁は回答起草內容につき說明するを避けたがその趣旨は米國の提議に感謝し錦州を初め全滿洲における戰爭行爲の責を全部日本に負はしめんとするものの如くである

ベルギーも
適用に賛成
米支持を發表

【ブラッセル八日發電通】米國務長官スチムソン氏が日支兩國に對し不戰條約調印國代表者を招き右通牒の寫しを交付したとの報道に關し、ベルギー政府は午前十一時四十五分（日本時間午後八時四十五分）までには未だ米國政府より公式の通牒には接しないが、ベルギー政府としては該九ケ國條約の調印國たる以上同條約の精神に則り飽くまでアメリカの趣旨に賛同しこれを支持する旨發表した

米國の通牒を
聯盟で歡迎
三つの理由から

【ゼネバ八日發電通】國際聯盟はアメリカが九國條約を引用して滿洲の情勢に關し日支兩國に通牒したことを非常に歡迎してゐる右の理由は

一、聯盟は國際紛爭を平和的に解決する唯一の機關と自認してゐるものでなく寧ろ有ゆる外部的手段の講ぜらるゝを希望する

二、聯盟は二十五日理事會が開かるるまで又は支那調査委員が滿洲に到着するまで具體的行動に出でなかつた際アメリカがこの擧に出でたことは時宜に適してゐる

三、滿洲問題が解決さるるまでは聯盟は不斷日本に壓力を加へる必要ありとしてゐた時でありアメリカの行動は[illegible]的壓迫と見てゐる

日本壓迫を
各國に要求
國民政府で決定

【南京八日發電通】國民政府は日本に對し[illegible]を[illegible]ざる國交斷絕を宣布すべく[illegible]中と解せらる、聯盟に加入し居らざる米國その他に對しても日本に壓迫を加へるやう要求するに決した旨非公式に發表した

經濟封鎖の要求を
支那、聯盟に提議
南京政府が決定

【南京八日發電通】外交部首腦部につき確かめ得た所に依れば南京政府は聯盟に對し聯盟規約第十六條を適用し日本を經濟封鎖すべしとの要求を提議するに決定した

水戶訓導夫妻の
葬儀を擧行
十八日臺北に於て
福州でも居留民合葬

去る三日福州で暴徒の兇刃に斃れた公學校訓導水戶參雄氏夫妻の遺骸は來る十七日遺骨到着の翌十八日（月）午後四時より臺北市[illegible]に於て[illegible]文敎局長が葬儀委員長となつて執行せられる事となつた故水戶訓導の令兄水戶晴郎氏は十一日內地より臺北着、水戶夫人の父君前川孫一氏と共に遺骨受取の爲福州へ出發十三日[illegible]福州にても居留民會葬を執行して故人の靈を慰める筈である

嚴重抗議
福州事件で
上村領事から
陳部長に

【南京八日發電通】上村領事は八日午後三時陳外交部長を訪ひ福州に於ける北上居留民遭難事件に關する帝國政府の嚴重なる抗議を手交した

福州事件を
陳謝
公安局長等が

【馬公特電八日發】[illegible]福州情報によれば七日午前[illegible]林知事[illegible]公安局長等[illegible]館に來たり今回の事件に關し陳謝の意を表したと

阿部新軍司令官の
親補式はけふ擧行
二十五日神戶出帆の蓬萊丸で
臺灣に赴任の豫定

【大阪九日發本社特電】臺灣軍司令官に榮轉の阿部第四師團長は九日行はせらるる親補式に列するため八日午後九時二十五分大阪發東上したが、臺灣赴任は二十五日神戶出帆の蓬萊丸の豫定である

必勝を期する鐵團
果して雪辱か
期待さるる最後の一戰
明十日圓山球場で擧行

明大を迎へての臺北に於ける最後の野球戰！對一中野球戰、鐵團戰は十日午前午後に亙り圓山球場にて華々しく開始される、今年はOB鐵團共に昨年に較べて兎角意氣が揚からぬとの臺北側ファンの批評に挑戰した鐵團は十日の最後の一戰にかて其の最後を飾るべしとて猛練習を續けて意氣込んでゐるが、鐵團は昨年は早稻田があれだけの猛襲をすくつて來征したのに鐵團の如き健棒を揮ひ打ちのめし主將は病後で大事をとつて小川投手をプレートに送り其の殘餘的な好投に依つて辛うじて決戰に勝つを得た程であつた、而して十日の明大戰に鐵團が果して昨年通りの深刻なる陣前を見せ得るや否は豫知するを得ないが鐵團は本年の明大第一回戰に惜敗して成らず第二回戰は全然棄戰を過つたので何としても十日の第三回戰で雪辱を期せねばならぬと一方アン側も明大軍が降り選手を多く取揃へる事なく出場選手を[illegible]あらうと期待されてゐる

技倆を

[illegible]制限して眞の[illegible]してゐるので十日の最後の一戰は一中野球部對明大豫科チームの試合と相待つて興味を大に持たれてゐる

鬪志滿々たる
北一中選手
明大との勝敗如何

十日の一中野球部對明大豫科チーム戰は午前十一時より開始される、が今そのメンバーを見るに[illegible]クラブと言つて[illegible]投手のみでハチ切れるやうな元氣と意氣を持つてゐる、殊に昨年來行はれた對神兵戰にはまで[illegible]防禦方を案山の安き守つては好防禦方を案山の安きに置き遂に三對零の好スコア

擊破し

少からず一中ファンを歡ばせたのであつたを以て之を[illegible]新來選手陣容なる飯島監督の下に練習を怠らず、全勝を誇る明大軍に最後の一擊を與へんと意氣になつて時の至るを待つてゐる、之に對する明大軍は全部豫科チームで投手は戶來、中村の兩手は二木、山勝、一[illegible]、二[illegible]

明大のメンバーは次の通りである

野球部長 富倉　監督 岡田[illegible]

[illegible]

東方力士も
單獨出場は拒絕
相撲界の大紛擾
解決の見込立たず

【東京九日發電通】天龍武藏山以下西方力士二十一名の相撲協會に對する改革運動は益々紛糾を續けて解決の見込立たず、協會側では極力西方力士に對し善後策を講じ、雙方力士の說得に努めてゐたが、八日東方力士十三名以上は高砂部屋に籠り協議した結果、總會に決議を作成し午後五時高砂部屋の太刀山を押し立て出場を拒絕することを申合せ、從つて東方としては單獨では春場所出場を拒絕せぬが協會改革には協力して之に當ることになつた

本島では最初の
圖書館週間
十一日から始まる
映畫會や展覽會等催し澤山

來る十一日から十七日まで臺灣圖書館協會及び臺灣愛書會主催、總督府、各州廳、本社及び臺灣、臺南新聞社後援の下に圖書館使命の周知を圖つて其の利用を一層大ならしむる目的を以て本島最初の

劃期的「圖書館週間」を

施する事になつた、其行事は追々詳細發表するが十一日（月）午後七時より鐵道ホテル餘興場に於て臺北帝大總長幣原坦博士の講演「圖書館の文化的價値」と題する講演及び「日本關係の史料を西歐に訪ねて」と題する東京帝大教授幸田[illegible]博士の講演がある外十五日午後七時より鐵道ホテル餘興場にて

映畫會

十六、十七の兩日午前九時より午後四時まで總督府圖書館にて展覽會を開催し又十日より十四日までラヂオ放送による講演がある

重光公使歸朝
十二日上海發

【上海八日發電通】重光駐支公使は十二日發の上海丸で歸朝するに決した

富田氏夫妻の
試演會

來臺した[illegible]富田[illegible]氏夫妻の試演會が八日午後四時半から本社[illegible]で行はれた富田氏は[illegible]今回來臺したのは、現代の兒童教育に[illegible]したい爲めに各學校及び敎育團體等に童謠と童謠舞踊を普及させたい趣旨である[illegible]お月さん「兎の踊り」などその[illegible]しい純眞さが溢れてゐる「雨降り」と高い氣品がうかがはれる、夫妻は九日以降の小學校を振出しに全島各地の小學校[illegible]

（寫眞は富田氏夫妻）

感心な漁船

熊本縣人基隆市社寮町比良九十吉（[illegible]）[illegible]又一（三七）の兩名は七日前夜[illegible]下で和船にのり延繩漁業中風浪の爲船覆沒あはや溺死せんとする際折よく通り合せた木島人乘組の發動機漁船が救ひ上げ社寮島の[illegible]に送り屆けずにそのまま去つた、屆け出により水上派出所では件の奇篤な發動機漁船を八日朝に至りやうやく調查した結果[illegible]丸と判明したが姿は未だ見えない

漁夫二名
波に浚はる
一名行方不明

【基隆電話】基隆市入船町一ノ一六郎口隆之助（三七）所有發動機漁船第二天神丸（三十五馬力）は船長外八名乘組み出漁七日午前十一時過ぎアジンコートを距る三十五浬沖合で漁撈中水夫友知滿一（三七）及同福本[illegible]（三七）の兩名は激浪のため浚はれ福本は負傷しながらも漸く舷側にかぢりついて助かつたが友知は遂に行方不明となつたので八日午後五時基隆に歸港かくと屆け出た

上旬貿易
六百七十萬圓の大入超

【東京九日發電通】大藏省主稅局調査の一月上旬貿易は左の如く六百七十萬圓の大入超を示したが之は金輸出再禁止見越の先物入超と金輸出禁止見越しての輸入時[illegible]を見越しての[illegible]によるものである（單位千圓）

輸出　一七、六八九

輸入　二四、三[illegible]七

ブリアン外相
辭表提出

【巴里八日發聯合】佛國外相ブリアン氏は本日病氣の理由で辭表を提出した

蔣公使の
辭任を聽許

【上海八日發電通】國民政府は蔣作賓駐日公使を辭任した後任はまだ決定してない

新年書初
南門公會堂で

綠山書院にては吉例に依り十日午前九時より臺北市南門公會堂にて新年書初式を擧行する由、希望者多數出席をのぞむと

社會事業講演會
新竹で開催

【新竹電話】中央社會事業協會總務部長原泰一氏の社會事業に關する講演會は九日午後二時から新竹公會堂にて開催されたが多數の來聽者があつた

杉本良氏歡迎會

臺北エスペラント會では杉本良氏歡迎會を來る十二日午後五時より榮町新高喫茶部階上にて開催多數エスペラントの參會を希望の由準備の都合上出席希望者は十一日中に殖產局[illegible]部內猿渡宛申込まれたい

寺本測候所長
宅に小火

八日夜十時四十五分頃臺北市佐久間町一ノ五測候所長寺本定吉氏方の階上から火を發し同氏方板間若干を燒き鎭火した、南署から山田部長が現場檢證を行つたが原因は同日午後七時頃寺本氏方の門松を燒きその灰を階下に置いてたところその灰中に燃え殘りの火が入つてゐたためである

天氣概況（九日）

本島附近は北東季節風が吹き續いて居りますが勢力は北部と東部は曇り中南部は快晴の好天氣となつて居ります

▲天氣豫報（十日）

臺北地方　北乃至東の風沿海地方强く晴れ時々曇り

[illegible]

各地氣溫（八日）

[illegible]

商況

米況　九日

正米市況（前場）

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

株況

東京國債

[illegible]

會葬御禮　青木[illegible]　威巴雄

會葬御禮　男　從村一詩　親友　同　人戚　同幸

運轉手養成　新學期一月十五日開始　臺北自動車講習所　大和町六丁目　電話一四〇五番

資生堂
コールドクリーム
お肌の荒れを防ぎ・お顏を一層美しくする
マッサージー用の營養クリーム
大一圓・小五十錢
各地資生堂チエインストアーにあり

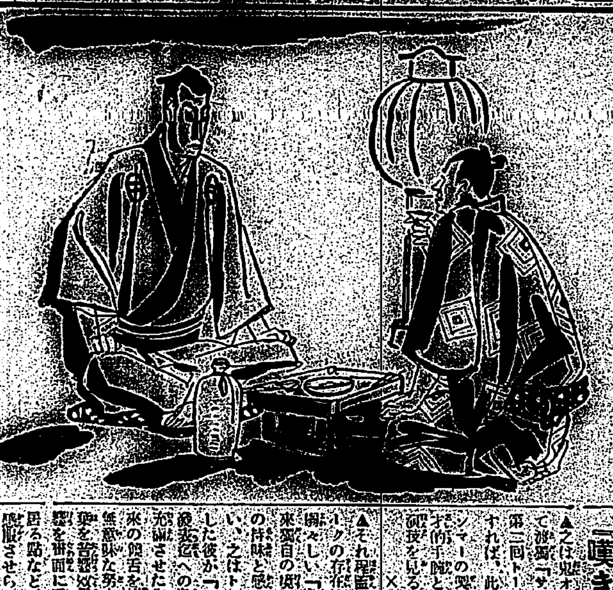
肛門糜爛にデンチン
外痔には軟膏（五十錢）
內痔には坐藥（一圓）

鈴江特許法律事務所
東京市小石川區江戶川町二一
臺灣の各位には御便宜を圖ります

長期短期清算取引
大阪株式取引所一般取引員
松井博三商店
大阪市北濱一丁目

殘月譜（73）

志乃田廸司作
清水三重三畫



粟　首（一〇）

傳之助、につこり笑つた。」
「爾か？」
「へい。」
「飲んでも悪くはないな。」
「へい。」
三子ヶ瀬、につこり。
「買つてくるかな。」
「へい、直ぐ行つて參ります。」
「ははは、まさか、内緒で買ひ飲みする譯にはゆかぬ。」
「へえ――」
「こんな晩は、誰かに思ひに耽ることもいいことだ。」
「ただ、旦那さま、わつしは、その思ひに耽るつてえのが緊動なんです。」
「どうしてだ？」
「を、女を、思ひ出しますんで、へへ。」
「仕様のない男だなあ――」
「へい、わつしも、實は、さう思つてますので――」
「締。」
「へい。」
「臺所へ行つて、お酒を申し受けて來い！」
「へえつ、ありがてえ。」
三子ヶ瀬、飛び上るやうに喜んで、臺所へ飛んで行つた。間もなく、徳利に小猪口をのせて膳を運んで來た。
「旦那さま、お女中さんを、ことわつて來ましたんで、へえ、旦那さまは、もう、女には御不足してらつしやるとのことと、へい、肴は野猪でも宜しからうと存じまして。」
「ああ、よく氣がついた、居候だ、威張つてはいけないのだ。」
「旦那さま、それでは、わつしが酌をさせて頂きます。」
「よし〳〵天下の力士の酌で飲むことは、うまいものだぞ。」
「へへへへ。」
「おい、三子ヶ瀬、其方もやれ。」
「へい。」
「遠慮はいらぬぞ、無くなつたら又買つて來い。」
「た、旦那さま、それぢや今夜、酔ひ潰れる迄飲んで頂けますか？」
「うむ、飲まう。」
「しめたつ！」
「何？」
「いいえ、わつしも、すつかり御馳走になれるんで、嬉しいんです。」
「さうか、やれ〳〵、どし〳〵やれやれ。」
「へい。」
「酌をしてつかはす。」
「も、勿體のう存じます、へい、すつと、こぼれます、こぼれます。」
三子ヶ瀬、ちゆつ、と舌を鳴らせて、うまさうに飲んだ。
「もう一杯頂きたう存じます。」
「それ、飲め〳〵。」
「へへへへ、いい酒で御座いますなあ、酒に酔ふことは嬉しいが――」と云つて、三子ヶ瀬は、凝つと傳之助の顔を見た。
「女でも欲しくなると申すか？」
「へへへ、それも、さうなんですが――」
三子ヶ瀬、酌しては飲み、酌しては飲んで居たが、
「旦那さま、旦那さまは、いいカですね――」
「な、何を云ふのだ。」
傳之助は笑つた。
「旦那さまは腕はお達者のやうですが、喧嘩と云ふものは寐ても、大丈夫なものですか、斬つ摑つてくつすり寐てても――」

獨逸ウファ社超特作オール・トーキー

『嘆きの天使』上映

九日よりシネマ・リロンに
（臺北シネマリーグ第三回鑑賞映畫）

原作　ハインリツヒ・マン
脚色　ロバート・リーブマン
監督　ヨゼフ・フオン・スタンバーグ

キヤスト
ラート……エミール・ヤニングス
ローラ……マルレーネ・デイトリツヒ
キーペルト……クルト・ゲロン
グステ……ローザ・バレッテイ
マツエツペ……ハンス・アルバース

千惠藏プロに新入社の白川小夜子

（寫眞は嘆の天使の場面）

『嘆きの天使』評

▲之は鬼才スタンバーグが招かれて渡獨「サンダーボルト」に次ぐ第二回トーキー作品である。換言すれば、此の一篇はエリツヒ・ポンマーの製作者としての偉大な商才的手腕とデイトリツヒの偉大な演技を見るべき映畫にすぎない。

×　×

▲それ程監督者としてのスタンバーグの存在はいつもの彼に比して弱々しい。「救ひを求むる人々」以來獨自の境地を歩んで來た彼特有の特味と感銘とを與へてはくれない。之はトーキー映畫へスタートした彼が「モロッコ」以後の作品發表迄への過渡期の悩みや野心を充滿させた作品だからだ。併し從來の饒舌を極める米語トーキーの無意味な努力をはね飛ばして、言葉を音響效果的に使用した點、音響を畫面に手際良く融合せしめて居る點など、彼の用意の周到さに敬服させられる。

×　×

▲プロツトは第二の「ヴアリエテ」である。中年すぎた中學の教師が、あやしげなキヤバレーの踊るローラの色香に迷つて我と我身を破滅の道へと導く物語である。ハインリツヒ・マンの小說「ウンラート教授」をカール・ツックマイヤー及びカール・フォルモラーが潤色し「東洋の秘密」「死の花嫁」のロバート・リーブマンが脚色したものだ。

×　×

▲主人公を演ずるのは「ヴアリエテ」のヤニングスだ。彼の演技はここでも「ヴアリエテ」にまさるとも劣らない程すばらしい、だが見慣れた吾々は「ヴアリエテ」ほどの深い感動を受けない。ウフアの製作者はヤニングスの演技だけでは、充分觀客の興味をつなぎ止めること出來ないことを賢くも知つて居た。そこで此の名優の至藝に加ふるに新發見のマルレーネ・デイトリツヒの魅惑的なデカダンな「美しさ」を添えた。之は此の映畫における一つの救ひとなつた。デイトリツヒの壓倒的な演技は國際ヤニングスを押しのけてゐる。

×　×

▲その聲は、その卑猥な旋律の唄と共に恐らく官能的であり、その容態は聲と同様に魅惑的だ。デイトリツヒは「嘆きの天使」「モロッコ」の二篇によつて旋風的に世界映畫界人氣の中心に飛び上つた。それは近代人の求める官能的な醜い美を具有するからだと云ふ以上に監督スタンバーグのお膳立を要る事著しい。スタンバーグ無くして彼女の名は現はれなかつたであらう。

×　×

▲ウフア社のトーキー製作の手腕は、すでに「最後の中隊」に示されてある（ウフアトン）フリツツ・テイリーが録音してゐる。

×　×

▲會話を出來るだけ省略し、動作に重きを置いた點、音の轉換と音響との巧なる融合美術的混合の效果にも拘はらず一つの外國語を知らずとも充分了解出來るやうな效果を見せて居るのは、ひとへに此の監督の努力であると共に、ロバート・リーブマンが之等の意圖を良く呑み込んでなした脚色に負ふ所多々あるを忘れてはならない。

×　×

▲撮影は、悲歎「アスフアルト」「死の銀翼」のギュンター・リツタウ及びハンス・シュネルカーで獨逸式ではあるが申分ない。

×　×

▲影と色と音のよき握手を「パリの屋根の下」「モロッコ」「最後の中隊」と共に、此の一篇に見出す事が出來る。新春の本島映畫界に眞に鑑賞し得る名篇である。臺北シネマリーグ第三回鑑賞映畫である。廣く一般に此の名篇を推薦する意味で優待券を發行した（終）

臺日俚謠

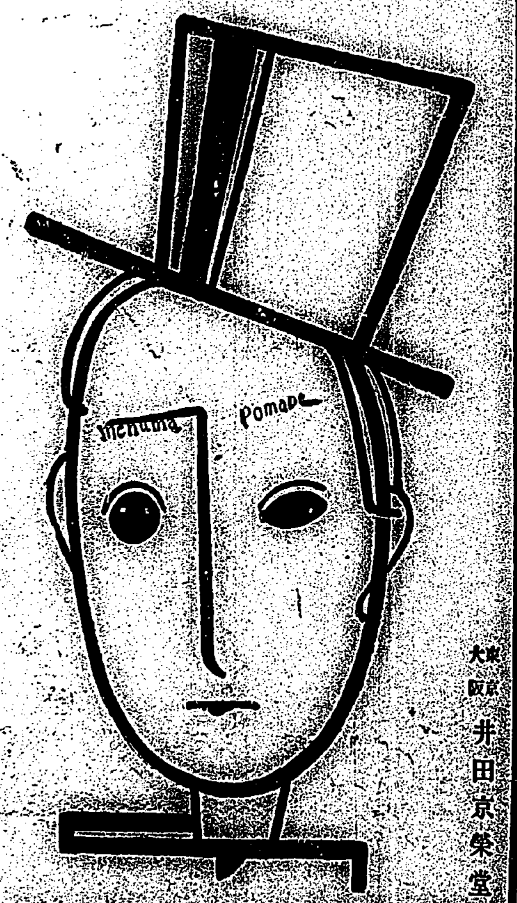
葉書、句數無制限、何れも投書し得、宛名は本欄係

△意地にや見せない涙も情にや止めどなく〳〵濡らす袖　臺北　非　熊
△齒に沁みたい野猪の風もやんでおいしい豚蕃の味　廈豆　田　合
△役者惚れれば楽屋までも替はる日比谷の劇評臺　臺北　はの字
△貧乏して居りや御飯の砂も馬鹿にする氣で齒にあたる　臺北　あの字
◎銃の雨に命をかけて勇む滿洲の探照ひ　臺北　霞　浦
（評）詰め得る日も死きにあり　選者　吟
◇貧のパフトが洗の足らぬわけは赤誠したとやら
「本日を以て昨年投吟の分打ち切り新さ心意氣の投吟を歡迎す」

新刊目次（最近着社の分）

△大日本（十二月號）△九星月報（昭和七年）△教育時論（十二月號）△自由評論（十二月號）△和協（十二月號）△普及（十二月號）△つはもの（十二月號）△撞球倶樂部（十二月號）△軟式野球（十二月號）△文藝汎論（一月號）△臺灣齒科月報（十二月號）△中央佛教（十二月號）△宗教（十二月號）△光（十二月號）△法學（一月號）△女人藝術（一月號）△刀劍と歷史（十二月號）△ぬかご（一月號）△セルパン（一月號）△新興（一月號）△拓殖公論（十二月號）△政界往來（一月號）△國立公園（十二月號）△婦女界（一月號）△野球時代（新年號）

毛髪を美しくする
メヌマポマード



年と共に……
一新された頭をやんわり包むメヌマポマードの美髪！
光澤といひ感觸といひ眞に敬虔な氣持を表現するに適はしい清新輕快の渾一美！

メヌマポマードは純良の植物油に有效適切の發毛劑と高貴の香料とを配合せる濃度中性の標準美髪料にして適度の粘稠性を保ち特に洗髪の時石鹸に快速に溶解す

東京　大阪　井田京榮堂
M−1

臺日案内

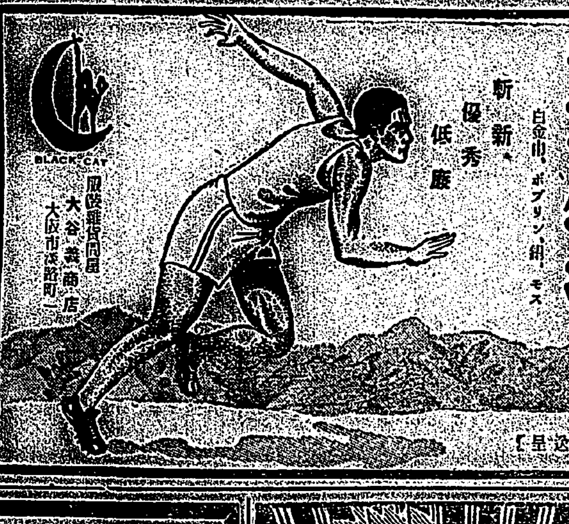
書籍　吟見書店
藥種商　エナモル
タキツケ火の母
醫院　小林醫院
藤井齒科醫院
内地土産　ボンカン・ザボン　桐田商會
白柚とジヤボン
寫眞　初春に活動寫眞機　カメラ交換賣買歡迎
下宿屋　太陽館
御下宿　福井館
旅館　是非天狗庵へ　臺北投温泉
ラヂオ器械　ナナオラ　ミゼツト受信機　大特價廿五圓也　臺北市本町四ノ一　中川章輔商會臺北支店　電話二四六番
電氣機具　中山電氣商會
料理屋　大衆食堂よし屋
雜件　洋服ダンス
設計
塵紙障子紙　栗田商行
特許商標　岸喜鑑
臺灣營業案内　活動寫眞は高島商會
本邦唯一の精良品　サツク　丁子堂

イカリソース
原料は野菜と果實
獨特の葡萄酢を配す

金　モーリス　請
穀物膨脹機

斷然超一品
五合の米が八升に膨脹　時間は今
【特約店募集】
發明製造元　ホウトク商會本店
大阪市

クロネコの男女兩性
ランパンツ
斬新・優秀・低廉
白金巾・ポプリン・綿・モス



服飾雜貨問屋　大谷兵商店　大阪市淡路町一
【型錄進呈】

明治ミルクキヤラメル

標語
「今年は申歳
明治キヤラメルで
孫悟空
十萬八千里どころか
飛べるぞ
飛べるぞ」

正價　大・小　48錢
明治製菓株式會社　東京丸ノ内

福萬獻

銘酒の盟主
灘　花木本家釀

漢文臺灣日日新報

優詔降下犬養首相

九日午前十時二十分東京急電。九重降優詔於犬養首相。

首相拜謁優詔留任

九日東京急電。犬養首相。九日午前九時三十分。參內拜謁。聖上陛下。而賜留任優詔。首相奏請准予猶豫。而後退下云。

臨時閣議留任可否

九日東京急電。犬養首相。十時二十分。於首相官邸。開臨時閣議。報告詔命留任之件。協議奉公可否云。

中橋內相昨夜參內
惶恐捧呈辭表

八日東京急電。中橋內相。爲親任奉告。適往伊勢。接政府急電。八日午後九時。倉皇歸京。與出迎長警視總監。參內。[illegible]報告。捧呈辭表。十時三十分退下。訪犬養首相。有所協議云。

犬養內閣縱使續存
內相引責應辭

九日東京電。中橋內相深感責任。辭意牢固。縱使犬養內閣續存。或只中橋內相。單獨辭職。以明責任云。

荒木陸相辭意鞏固

八日東京電。荒木陸相。八日捧呈辭表。今後縱優詔降下政府。政府更考慮進退。決意斷不留任。陸相如此決意。頗重視云。

命令各地方長官
檢謠言安人心

八日東京電。內務省八日午後。關不敬事件。札飭各地方長官。此時檢束流言蜚語。以防人心動搖云。

眞崎軍司令官
搭扶桑丸離臺
武文官多數送行

眞崎軍司令官離臺。八日午後三時十分。抵基隆驛。步郎有林要塞司令官。衛戍地將校三十餘名。基隆官民百餘名。堵列迎送。軍司令官入驛頭二階貴賓室。受林要塞司令官以下伺候。各示惜別之意。驛前有重砲大隊儀仗兵。在鄉軍人。各校生徒。整列送行。由棧橋乘汽艇至扶桑丸。直入社交室。該室有鎌田守備隊司令官。小杉參謀長。福高級參謀。遠藤軍醫部長。淺野港務部長。木下長官。白勢交通局總長。井上小栗各局長。松本築港所長。平山知事。吉富市尹。石坂莊作。顏國年。許丙諸氏其他。各交送餞詞。歡談少刻。一同乾杯。爲軍司令官祝健康。然後告退。扶桑丸離岸壁解纜。

鈴木侍從長奉旨星夜西下
興津訪西園寺公
九日朝合召犬養首相

九日東京電。鈴木侍從長。奉旨西下。八日午後八時九分。自橫濱乘車。與東京驛乘車。原田熊男男同車。十一時四十一分。到靜岡驛。田中靜岡縣知事等出迎。直驅西園寺家所發自動車。入興津坐漁莊。雖在深更。與園公會見。傳達下聞聖旨。園公奉答。會談五十分。午前一時辭去。二時十四分乘靜岡驛發列車。急于歸京之途。園公奉答。或在優詔犬養首相。不須乞退。或以優詔。再降大命。於犬養首相。總之鈴木侍從長。九日午前六時三十五分。到東京驛。詣宮內。拜謁天皇陛下。伏奏園公奉答事情。結果九日午前中。再召犬養首相。賜下優詔。首相召集臨時閣議。決定犬養內閣最後態度云。

美九國條約適用宣言
國府事前知悉
三公使南京活動有關

八日南京電。南京政府首席林森氏。七日電張學良。有最近事態。與某々國有諒解。此際均望自重等語。除此南京政府。假於事前。知美國宣言九國條約適用者。某々三國公使。在南京活動。與此有關係明矣。

比利時政府發表
贊成美國宗旨

八日武拉西電。美國務長官。關日華兩國通牒。招不戰條約調印國代表。交付通牒寫本。此報維傳。比利時政府。本午前十一時四十九分（日本時間午後八時四十九分）。尚未接美政府公式通牒。先發表比利時政府。爲該九國條約調印之一國。自當照該條約精神。終始贊同美國趣旨。而爲支持之旨云。

滿洲情況奉天無電臺中繼
放送美國及本邦全國

九日東京電。營口囑美國放送局。放送滿洲情況。東京放送局。向奉天無電臺。與關東軍交涉。[illegible]由東京數中繼奉天無電臺放送。放於美國及本邦全國云。

海外惡化
商品反落
禁金行情似畢

八日大阪來電。待電。金再禁止。爲替下落。商品界無視世界惡材料。廣久恭騰。海外市場。殊如美國惡化。年末年始之市況。至四日遂挫折。六日市場實際惡人氣濃厚。行情已帶反動的傾向。一齊降落。金物銅六十圓四十錢。雖起一圓八十錢。錫百五十二圓。崩落八圓。鉛[illegible]亦落五六十錢。[illegible]落十二錢五厘。人絹約十圓。毛斯三十六錢七五只落一錢。豆粕膽勢未易。

公使歸朝
訂來十二日

八日上海電。重光駐華公使。訂十二日。乘上海丸歸朝云。

本島倡設
硫安委員會

爲運用硫安輸出入取締規則。內地既設硫安委員會。朝鮮臺灣亦參加。殖產局長爲委員。商工課長爲幹事參加之。我臺灣亦倡設硫安委員會。如爲設置。定由官廳民間選出委員組織之。民間乃肥料商。製糖會社等。此委員會。所以決定基準價格及購入數量。基準價格。內地朝鮮臺灣同一。內地移入臺灣數量。由內地決定。臺灣則定以外之輸入數量也。

內閣進退絕對的
縱有優詔應辭退
民政黨之意向

九日東京電。民政黨。對此回事件。頗慎重態度。注視政府今後舉動。以爲政府進退。爲絕對的。縱有大命再降下之優詔。亦應辭退。犬養內閣。如復留任。議會再開劈頭。且提出宣全臣節決議案。自政治道德上。以糾彈犬養首相云。

上村領事訪陳外長
抗議福州事件

八日南京電。上村領事。八日午後三時。訪陳外交部長。關福州北上艦長遭難事件。而交帝國政府嚴重抗議書云。

蘇花間客船
乘賃降減
十日起實施

大阪商船會社。既有降下本島東沿岸線運金。茲又將蘇澳花蓮港間乘客車賃。二等四圓。三等二圓五十錢。一月十日起實行。又對于蘇澳船客。驛、艀船間自動車無料接續。改言艀船。而蘇澳花蓮間艀船賃。一人降爲二十五錢。兩港手荷物接續料。亦落爲三十錢。

臺北州農會
配付茶苗

臺北州農會。本于總督府茶業獎勵。養成優良茶苗四百五十萬本。各爲配付。其大部分略已告完。一月十日起。配付淡水郡下所養成硬枝約心。二月十六日起。配付山新竹州金山方面茶業組合所購入青心大冇種茶苗。本年因天候良好。于茶苗移植。大得其便。故事業異常進步。

對岸警備信無違算
照既定方針進行
馬公要港部所談

福州事件。僑民開大會或決議。以此次之事件。大以爲憾。就此馬公要港部漏出意見如左。關對岸警備。自事件發生以來。鑑于福州情勢。該要港部。使艦船部隊之努力活動。確信毫無遺算。日本海軍。不受他支配。對岸警備。照既定方針。則于國際法所示。以最善方法而行。唯就此次福州事件。與海軍連絡所論之點。假見有不滿之意。

福州日僑大會
發表決議及聲明

本月二日及三日。對岸福州勃發之中國民衆行事件。在留日僑。極度激昂。要望完全解決。爰于去三日。開日僑大會。決議左記事項後。作成聲明書。對中外發表。

決議事項

一、兇首嚴罰。

二、治安責任者嚴罰。

一、省政府謝罪文公開。

一、以後絕對保證。

一、反日游行絕對禁止。

一、要求反日會即時解散並禁止新設立。

一、反日抗日宣傳單即時撤廢。

一、省政府任我帝國僑民生命財產並擔負絕對保護保證之責。自不待言而每日的行爲嚴禁。

吾人期以上八項完全貫徹。爲達成目的。誓以一致團結。忍受一切犧牲而不辭。該發行事件。福建省現政府。對吾帝國僑民生命財產保護。全無能力之實證。故望吾帝國政府。嚴重抗議。對中國政府。進而斷乎藉武力而解決之也。

聲明書

中國々民黨。以民國政府爲傀儡。標榜革命外交。其排外如排日侮日抗日惡感。醞成不祥事件。吾等僑民。隱忍自重。甘蒙一切犧牲。滿洲既往不祥事。或不逞叛兵。我當局常以寬大爲旨。我僑民常忍無可忍。詎意于一月二日。其亂暴不倫。竟加于我代表者田村總領事及北上艦長等。而其責任。乃是日午後三時半。田村總領事邦算北上艦長並杉野中佐。遊行于西湖公園。中國暴民暗排日傳單相投。對其取受躊躇。或裂破之。則大衆對總領事侮辱。對北上艦長並杉野少佐毆辱。惡虐至極。是可忍孰不可忍。今中國全土。亦民自書橫行。而中國政府。而手傍觀。時或陰爲援助。而對解除吾帝國僑民之危難。無誠意。吾人遂此。須猛然蹶起。一致團結。而督勵我政府。廢止因循姑息手段。要請斷然以根本的解決。本于眞個人類愛。排擊一切不法分子。救我良民之塗炭。外而于友邦開明事態之眞相。中國認識。而防誘導。爲確保世界不和。勇往邁進也。

翁姑虐媳者鑑之
離婚後愛子服毒
生命十分危篤

高雄州鳳山郡鳳山街鳳山字火房口人鍾錦鳳之長男鍾鳳祥。年三十二。去年正月中。娶同郡大寮庄拷潭人張簡乙之長女張簡氏在。年二十爲妻。結婚後夫婦和睦。惟同祥父母。頗加以虐待。常以種々毒手毆打之。婦皆忍受。然翁姑尚不知足。更將其媳逐歸。至今已逾二個月餘。鳳祥日夜憂慮。無可奈何。六日。鳳祥夫妻。忽被父母正式離婚。於是鳳祥。竟悲傷而不能自禁。去八日向高雄某藥堂。購買醉劑。同日午後六時頃服下。未幾藥力發發。宛若起狂。將家具盡行打碎。父錦與親狀大驚。立將鳳祥以自動車。載上高雄石田病院。急救結果。目下生命危篤。因服藥荒多。詳容後報。

禁害蟲發生蔗
搬入鹿兒島

鹿兒島縣。爲欲防止害蟲發生蔗之移入傳播。乃發布甘蔗及甘蔗苗取締令。凡今後由縣外。對于同縣大島郡管內。搬入發生椿象蟲之甘蔗。或蔗苗者。概行禁止。並移牒到臺灣云。

新營郡產技
十一日磋商會

新營郡庶務課。依定例。訂十一日上午九時起。在[illegible]

米界恐慌已得安定
浮動米一掃必再昂
大移出商多占買

八日午後二時頃。接犬養首相假將辭職之報。正米市場方立會中。人氣不安。各限低落二三十錢。迨四時半。稍新街場外寶米幅落。當限間糯落至九圓。蓬萊六圓七十錢。同糯早朝糯唱十圓五六錢。不見已落一圓以上。買者稀々轉賣。其有賣者。開首[illegible]中限八[illegible]兩。李某。自午前及過午。大量買入。晚間既應。三井加藤諸大商多買。浮動米一掃。入夜雖接犬養首相掉留表之報。人氣已由恐慌而漸安定。轉瞬間復起一四十丁。九時更開無線電台報道大命將再降下于犬養首相之息。當限六十錢。[illegible]十錢。翌晨期米一節只落二十丁。至四五節。節々昂騰。至八節又稍落。然留任優詔。已再降于犬養首相[illegible]

被捕山豚路弓
射中腦部負重傷
腦丁歸寮後卒倒

竹山郡竹山庄大鞍字福興第一號腦寮腦丁焉德盛。年二十九。去六日下午二時頃。因調查原料。往流黃山附近。被張在茅草中之捕山豚路弓。射中右臀部。透左臀部。負長六寸。闊一寸五分。及外二處重傷。負傷後歸腦寮卒倒。被家人發見。同日即舁往竹山公醫王吳木氏處受治療。又加害者判明爲同庄人今木來。目下正被郡警察課取調中云。

灣裡製粉
憤受製糖煤害
擬向當局陳情

臺南州新化郡灣裡街。有二工場。最近煤煙灰。欲飛落於庄中近附。該處有業製蕃薯粉者數家。每值晒粉。輒被黑灰落於其上。甚感苦痛。故日前共推庄長王滄海氏。代向陳情。據該工場長中島氏云。黑灰飛揚。由於風勢所致。實無防止餘地。王以其話覆諸粉業者。然粉業者一遂謂彼此均營業。須互相遵重。應研究防止方法。乃爲合式。如中島氏之言。長此以往。實有妨害他人之業務。聞擬再向當局陳情云。

宜蘭農林
九十日行事

宜蘭農林學校々友會主催。將該校一般施設。及生徒之生產物。欲供一般縱覽。日程及行事如左。

▲九日當樂會午前十時至十二時。農業屯戲。午後一時至三時。

▲十日午耕競技會。午前九時至十一時。農園催戲同。時至十一時至十二時。音樂會。午後一時至三時。小公學校陸上競技會。午前至午後。

紅葉溪
建築護岸
安武組入札

花蓮港廳。日前舉行紅葉溪護岸堤防築造工事入札。官給材料以外。安武組以一萬四千七百四十圓落札。該工事。爲災害復舊事業。該溪每年雨期。頗見氾濫。附近一帶。多被浸水。此回工事。將自瑞穗溫泉上流二百間處。築三合土堤防二百七十五間云。

斗六酒工場
廢止風說
街民準備陳情

斗六專賣局酒工場。有廢止風說。斗六街民。念該工場若果被廢止。於地方繁榮有關。殊如內地人方面。去六日夜。集於渡邊德晉氏宅。謀善後策。結果決議向督府提出願願書。

自動車墜崖下
乘客運轉手重傷
係雇往欲迎娶新婦者

去七日午前四時頃。豐原郡豐原街鶯若橋南端。有臺中市人張樹敏所經營之三百號貸切自動車。墜於高約十尺之崖下。乘客及運轉手。皆負重輕傷。車體亦破損。不堪再用。聞該車乃被彰化街某富豪雇往內埔庄張家。欲迎娶新婦者云。

花蓮港
觀兵式

花蓮港陸軍觀兵式。去八日午前九時。在花崗山廣場舉行。廣谷大隊長。爲總指揮官。行壯烈分列式。九時半閉式。是日重要參觀者。有淺野廳長。和田所長。宮崎街長及各長並在鄉軍人。高女。補習學校。小公學校等云。

横光知事出府
爲嘉南圳事務

臺南州知事。去八日。搭急行車出府。[illegible]

閣議決定全員留任

九日東京急電。犬養首相。拜受優詔。召集閣議。協議結果。決定全員留任云。

[illegible]部補者。急往現場檢證。結果疑非事實。將委帶回郡取調。委示是乃自白爲負債三百圓。近更送歸本國五十圓。每年末迫近。窮于借還。故假稱遇劫。欲以寬債鬼之催迫也。

新竹市
定糞除巡視區

新竹市衛生當局。爲徹底的勵行市街清潔。此回分定東門、驛前、北門、南門等之四角頭。爲日々糞除巡視區。不日將更配置掃除夫擔當區域。使其日々除却路上污穢物。併宜施市內公共便所之消毒等。

宜蘭
陸軍始式

八日午前九時。於宜蘭分屯中隊。舉行陸軍始式。依前例舉行分列式。來賓多數出席。繼開茶果會。

舉地鎮祭

宜蘭街御大典紀念事業之宜蘭公會堂新築工事準備就緒。去八日午前十時。在宜蘭公園內。舉地鎮祭。官民均出席。式畢共舉祝杯。

新營霜害
各街庄報告
山麓較平地少

臺南州新營郡下一般農作物。月之四日。爲霜害。被害作物。依各街庄報告如左。主要作物。甲數價格及收穫預定。

被害作物別	甲數	價格	步合
甘藷	二千五百甲	[illegible]	[illegible]
甘蔗	四百甲	一萬四〇九	[illegible]
落花生	五百甲	六千圓	二三

二千七十八甲。二萬六千四百圓。而山麓方面。較平地被害爲少數云。

新塭火災
延燒二棟
損害數百圓

東石郡布袋庄新塭九番地謝九重之家。去六日午後二時二十分。突由灶脚發火。頃刻間。火勢炎炎。當地警官聞報。急以電話通知布袋分室。不移時有警官及保甲役員壯丁團員等。馳至現場。極力消防。至午後七時火滅。發火原因。聞係有五歲童。在灶脚弄火柴爲戲。致燒失茅屋二棟十三間。當時家人俱往野外拾柴云。

僞報被劫
五十餘圓
原因無力還債

基隆七堵庄暖々人。吳服行商林委。年二十三。詭云去七日上午十時半。搭臺車赴九芎橋途中。被七名覆面強盜。奪去現金五十二圓。於同日下午二時。赴該地派出所。報案。時轉報于郡警察課。於是即派非常線。松川一面西山刑事主任。

臺南
許可未下

去七日。由該地警所中原巡查。拘往該郡。

既報大甲郡清水街之阿片小賣人新許一節。聞察茂鄭氏之許可。尚未見下。風聞該街吸食煙膏。日間總數不過貓餘。如設三間。則區域過小云。

開學藝會

臺南市港公學校。去九日晚開一時。於該校講堂。開第四回談話會。唱歌。遊戲。兒劇等。計二十六番之學藝會。

煙酒抽籤

臺南煙酒賣捌人大會。由第一回抽籤。去十日午前十時。假市公會。由專賣局員及警官立會。依如既定舉行抽籤云。

墨瀋餘潤

本社新年漢詩募集。對於龍潭郡維標。臺中王竹修、臺中江介石三氏。欲呈以薄謝。希各急詳示住所於本社漢文部爲盼。

會　事

▲新莊郡五股庄。去七日午前十時起。假觀音山凌雲寺。開該庄管內家長懇談會。是日與會者約百餘名。而北爲庶務課長。與後藤觀學亦來會。

▲新竹警察署。去五日夜開七時。招待川中組長以下組員三十餘名。開慰勞宴。

▲北港郡北港宗教婦人會。依年例。於一月七日。午前十一時起。假北港公會堂。開一般婦人新年交禮會。本年參加會員頗多。

▲中壢街婦人交禮會。訂十日午前十時起。開於公會堂。

▲斗六街陳海永揚金成兩氏。新春任斗六街協議會員。其親戚友朋。于去四日夜。設宴於江山樓。爲兩氏開祝賀會。

詩會報告

去三日出席北部聯吟會之仰山吟社員一行七名。日前歸蘭。七日由張亦林石諸氏主催。開報告會。顧問吳陸華。及莊仁閣其他該吟社之青年讀書會員計三十餘名出席。會場在宜蘭木社取次店內。由出席者。報告狀況後。繼開擊缽吟。擬題美人七絕冬韻。又別題。冬衣。七絕寒韻。課於青年會員。發表後散會。

大甲
保釋放出

既報大甲郡沙鹿庄鹿寮之無賴漢五鬪一案。闞再拘同郡龍井庄田中央人紀金選到案。目前保釋放出。

拘召不往

大甲郡龍井庄新庄子人名劾。因清潔法受處罰金。不特不納。且被召不往。

新竹某旅館。中藏神女。蕭下女亦賣春。衞生全不管。空官廳取締。頗風熾可轉（中梅花。掌者投）豐原現取締密賣。社會政策要加之。宜依造詣。爲標。勿依金錢便自私。淡密亦自有好處。

人　事

▲東京有島生馬畫伯。昨被贈勲。去胡爲。良醫寬待劣醫否。社會政策斯合宜。（街頭私議）六日賣人事關。介紹藥炳燦氏。與某家之女阿珠結婚。炳燦正。（一知者）前途有爲之青年。乃在新化某旅館。與一下女問答。說甚麼秦晉爲煌。珠誤珠字。請爲訂山及死棄墳。至芳及務官調停。奉勸該青年。再加自重。此種閒事。勿管何如。（友人洪生）

土地奶々（下）

奶々微開其貼。每瞬日。姑奶々雖不能繡絲作平原。尚能抑沙成稀飯。（若都[illegible]）如此家。豈識姑奶々之別有大志哉。其自命之不凡。蓋若此。一日有客者。手攜二梅。其貌琛々然。自負山招一非相鐵口。斷定終身。腳踏道左。爲人推測命理。喧笑聲以觀者幾數重。時小兒圍而觀者。談命聲相和。辟爲奶々某氏所聞。爰邀之入。語以奶々命造。諸者沈思良久。有頃。忽然起曰。貴造命落土宮。係如魚得水之象。當將五花官誥。披霞珮。作夫人。[illegible]既而去。後有問名者。其母嫌于勞想吃天鵝肉。嫌若是耶。如是者數年。奶々遂熟伊日。我女當夫人。若輩臭小子。何足以偶我女。病。終未字。久之。奶々忽抱病。將不起。語其母曰。某土地以賭博故。須其夫人。剡直至命處。行且聘兒作繼室。已由某城隍介紹。某城隍證婚。擇今日於愛儷閣行文明結婚禮。吉期已至。兒去矣。語畢遂逝。悲聞軍樂。穿與笙歌聲。猶搖曳天半云。至是而贅者之言始驗。（完）

廣告

[illegible]

黃準鼎

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

臺灣日日新報社

文藝春秋　オール讀物　二月號

突如「日活騷動」を起した問題の女優秘史!!

渇仰の處女　入江たか子

新大臣立志物語

捕物綺譚　南蠻秘法箋　野村胡堂

戰國秘話　齋藤道三殺生傳　直木三十五

もゝちどり　久保田万太郎

好試合好勝負を語る

森島直造　荻野貞行　生駒鞆彌　三宅大輔　丸山三五郎　齋村北斗星　菅谷　久保松勝喜代

彼女と試驗管　竹田敏彦

やすかた日記　瀬戸英一

稲荷詣　渡邊均

昭和毒婦傳　三角寛

◆新人篇◆

南條エマ子の疑惑　市橋一宏

田沼刃傷　植村章太郎

唐人禍　車谷弘

肉体の話　エロ・グロ物語　カクテルの話

足の毛から足の先迄、裸にしてみた肉體の、一部一部から まる戰慄と恍惚の物語!

東西落語と講談傑作集

爾次郎の上方見物…三遊亭金馬
金釣り…古今亭今輔
氣晴し帳…柳家小さん
てれすこ…橘家圓藏
春雨茶屋…林家染丸
猿後家…桂文治郎
佐々木政談…桂三木助
越前家斷絕顛末…錦城齋典山
戀の暗佃の漁火…神田伯龍
三本足の鳥…田邊南龍

ミス・ニッポン評判記

全國主要列車時刻表あり

◆二月の巡勞
◆二月の旅
◆政治家と文士の遊びぶり
◆わしが國さ…伊藤金次郎

職業婦人美人懸賞　ミス・ニッポン募集
第二回寫眞發表◆第三回募集

雷火の窖（滿洲軍事秘話）

連載好評小說

長篇小說　春蕾…菊池寛
大岡政談　傾城やっはし…小島政二郎
由比正雪　坊主長庵…林不忘
慶安異變…大佛次郎

定價五十錢

文藝春秋社

犯罪公論　二月號出來　50錢

賣切れぬ先に即刻掴め!!

輝く我等が黄金雜誌

本日の夜　飯坂温泉の卷

これを見よ

領たらしめは余をして大統　アル・カポーネ

人間飢饉（前の卷）　村松梢風

姦通罪　徳川彦爾

ハンブルグの娼婦街　老川茂信

金貨百萬弗事件　瑠井十九

瘋狂院探訪記　狂者訪問記

精神病者檢査に就て
島田清次郎の手紙
腦漿の夢魔
蘆原將軍訪問記
ブランクの頁前後
白 絲 幻 想

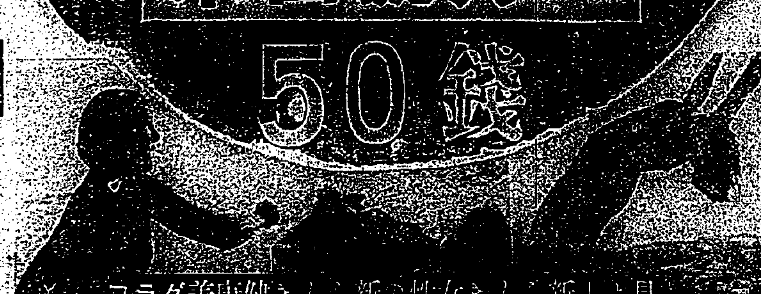
未開人種に於ける同性愛

世界犯罪實話

艶書に埋もれたジゴロの死（フランス）
非敵討以上（メキシコ）
ミス・クヰンスランド怪死事件（オーストラリア）
駅留の鞄から出た女二人の死屍（ロスアンゼルス）
競馬詐欺百萬弗（ニューヨーク）

リリ・フォン・エルベ夫人
賞話・運命の玩具
新聞・時評
ルンペン風景見本台帳
性病の危害
附けねらはれたK博士
同志吳秀蓮
奇術幻想圖

バイロンの吸血鬼　佐藤春夫



見よ！新らしき女性の新らしき健康美グラフ

東京市神田區通神保町
振替東京四四五四八
四六書院

食中毒にダイモール（常備以携）

株式會社鳥居商店

東京電氣の　專賣特許　バイタライトランプ

健康增進難病治療には紫外線浴を措いて他にありません。雨天曇天夜間にも自分の欲する時自由に日光浴が出來て新式冬期電氣ストーブの代用ともなり一擧兩得であります

こんな方は是非御使用下さい

△肺結核、肋膜炎、佝僂病、神經痛
△關節炎、胃腸病、氣管支カタル、癆
△坐骨神經痛、濕疹、膿瘍、凍傷
△百日咳、リウマチス、腺病質

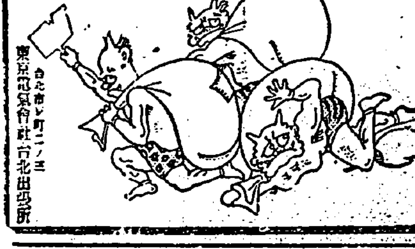
一號（病院用）金三三、五〇
三號（家庭用）金一六、五〇
四號（同）金一八、五〇
六號（普及型）金一二、〇〇

以上は三〇〇ワット內面艶消電球が附してでの値段でありますが五〇〇ワットのものは金一圓五十錢高値になります

御申込所

左記へ御申込になれば御便宜があります

台灣電力株式會社
台北、基隆、宜蘭、台中、彰化、台南、高雄、屏東
以上各營業所及教習所



東京電氣會社台北出張所

一萬分ノ一番地入　臺北市街圖

發行所臺灣日日新報社

白梅便箋

贈って安心受けて喜ぶ

御進物用には是非!

東京　山根東光堂

昔　今

効能で賣れる　ひゑとり

本家　七ふくや伊藤長兵衛

運動用具は　臺日へ

大阪　高津表門筋

森永ミルク

内外第一　標準煉乳

MORINAGA'S CONDENSED MILK
森永ミルク

おめでたう!

坊やに代つて

みなさん　より
全國のお母ちやまに申し上げます
「今年も森永ミルクでより強く正しく愛らしく育ちませう」

森永煉乳株式會社

催眠鎮靜劑　アダリン

獨逸バイエル製

バイエル・マイステルルチウス藥品合名會社

臺灣公立小學校訓導水戶參雄並臺灣公立小學校教員心得水戶光子儀稲州日本小學校在勤中ノ處一月三日午後八時三十分校舍內ニ於テ暴徒ノ襲擊ヲ受ケ兇刃ニ殪レ候條此段及謹告候

追而葬儀ハ來ル一月十七日（日）午後四時ヨリ北市寺町日本本願寺別院ニ於テ相營可申候

昭和七年一月十日

長女　父　親戚總代　友人總代

水戶川戶　場　主孫
前水　睦庄
大赤　堀　性井　鑑喜吾義　鐵次九之
赤土　林
小石　武田　興
上瀬　
浮緒　方　元二　辰俊

子藏一郎吉郎助雄郎次平夫

會葬御禮

木村又三郎
親族一同

バイオリン尺八

通信教授

大阪商船

門司
神戶行

近海郵船

吉野丸
朝日丸
大和丸

大不敬事件に直面して

恐懼と共に慚愧に堪へない

一

この八日、代々木練兵場における觀兵式より還幸あらせらるゝ際、櫻田門外に於て不逞なる一鮮人が鹵簿に向ひ奉り畏れ多くも手榴彈樣のものを投げし不敬事件あり。先に大正十二年虎の門の大不敬事件あり、重ねての事とて國民として誠に恐懼に堪へない。而も國民は唯だに恐懼のみでなく内に省みて慚愧至極に感ぜねばならぬであらう。常に天佑を保持させ給ふ我が聖上陛下にかゝせられて、玉體に何の御恙もあらせられざりしは當然のこととは申せ、此の點については赤子の擧つて祝福申上げねばならぬ所である。

二

右の不敬事件があの樣な兇暴を敢てするに至つた動因や思想的背景が如何なるものであるかは固より知るを得ないが、何れにしても兇的か狂的か、到底常人間を以て律し得ない者の一時的發作に基づくものと考へる外はない。皇室の御仁慈については今更ら論じ立てるまでもないが、帝國の欽定憲法は、天皇を政治上絕對無責任の地位に置き奉り、國務大臣が天皇輔弼の重責を負ひ責任内閣を組織してゐるのであつて、有ゆる政治上の責任は内閣に於て負擔するのである。故に上皇室に向ひ奉つて國民として何等の異心を挿むが如きことは絕對に有り得べからざる所である。この殊平たる事實を覺らず、兇殿に類するやうな不逞兇暴を國體に對して敢てした者ありとすれば、それは狂者か痴者かでなくてはならぬ。而も斯る狂者痴者が空前にして絕後なるべき虎ノ門事件に次いで更に今回現はるるに至つた事は假令それが新附の鮮人であつたとは云へ何度繰り返しても飽き足らぬ千秋の恨事なりと申さねばならぬ。

三

この不祥事件に對し犬養内閣が閣員擧つて恐懼直に辭表を奉呈して其責任を明かにしたのは當然である。凡そ政治上の責任として國民精神に背反する大逆行爲を敢てせんとするが如き者を出したといふ程な失態ほど政治に堪へぬものはなく、責任内閣としての立場を尖鋭するに其の最後手段たる總辭職を擇んだのは故なしとしない。かかる事例は恐らく外國にありては多く見るを得ないかも知れぬが、之が即ち日本帝國の皇室對國民を繋ぐ最も貴ぶべき傳統であり且つ國務大臣として執るべき當然の臣節であるのだ。

四

しかるに天皇陛下にかかせられては、犬養内閣の責を負ひこの總辭職に對し、その儀に及ばず留任せよとの優諚を賜ひ、大命犬養首相に重降ありしと承ける。内閣の閣員が臣節を盡せしに對し聖上陛下が寛大無比の恩寵を垂れさせられ、國家として時局重大の折でもあり重ねて國務を執れと仰せ下されしは、犬養内閣員一同の恐懼措くところを知らぬ所であると同時に國民としても感佩の外なく、皇室對國民の關係が眞に父子の情そのものであることに思ひ至らねばならない。

五

かかる不敬事件において、假令與論あればとて犬養内閣が留任すべきや否は、人と立場とに依て多少意見を異にするであらうが、それに就て我先づ不敬事件の批判そ

のものを極め且つ政情や時局等にも鑑み公正にして無理のない決定を致すべきものと信ずる。日本は今や内憂外患極めて重大なる時局に直面してゐる、この時局に對する政府の對策にして一度び過るならば、その結果は國家として國民として極めて重大なる事を覺悟いたさねばならぬ。故に今回の不祥事件が、政爭の具に供せらるることは絕對になく、萬人が認めて以て妥當なり公正なりと信ずる方向に向つて新政局の動くべきことを要望いたさねばならぬ。而して其の結果如何になりゆくも今回の事件に深く省み官民協力、斯る不祥不敬の重大事をして再び起らず絕後のものたらしむべく行ひる努力と用意とを施さねばならぬと信ずる。

時局重大な此の際 寧ろ進んで責を負ひ

難局に當るが責を盡す所以

犬養首相留任理由を聲明

【東京九日發電通】犬養首相は左の聲明を爲した

今回の事變で辭表を提出したのは憲法論とか政治論を超越して日本の國體として進退を決せねばならぬからさうしたもので全く臣節を盡すためである、然るに陛下には再び余を御召になり時局重大の際なれば留任せよとの勅諚を賜るに至つた、自分は閣議において勅諚を畏み協議したる所今回の事で責任を盡すことに二通りあり一は骸骨を闕下に乞ふか、或は再び斯る不祥事の發生を防ぐかにある、然るに時局重大この際寧ろ進んで責を負ひ難局に當るがその責を盡す所以なりと一決し自分は陛下に拜謁仰付られ御寛大なる思召には閣員一同感激に堪へず今後充分努力して聖恩に對へ奉る決心で謹んで勅諚をお受け致しました

留任決定までの事情

政府閣議後に公表

【東京九日發至急報電通】政府は緊急閣議後左の如く發表した

本日午前九時半犬養首相は中橋、前田、山本三大臣の辭表を一括闕下に奉呈し、更に閣僚を代表して皇后陛下に御詫を言上し、且つ御機嫌奉伺を爲したが、退出の際鈴木侍從長より暫くお待ちを願ひたいとの事で間もなく陛下に拜謁仰付られたる所『時局重大の際なるが故再任せよ』との御言葉を賜つた、犬養首相は『今回の事件に對し御咎もなく只今の御言葉を拜したる事は感激に堪へませぬ、歸邸の上各閣僚とも協議し奉答申上ぐ』べき旨を伏奏して御前を退下した、依つて首相は官邸に臨時閣議を開き協議を遂げ途中より森書記官長をして高橋藏相の意見を聽き、閣議に藏相の意向を齎し閣議は直ちに終了した、依つて首相は午後一時半豫定された親補式に侍立後宮中の御都合を伺ひ本日閣議の結果を奉答するに決した

内相は單獨に辭職すまい

一蓮托生主義の慰留に依り

【東京九日發電通】中橋内相の辭職は閣議の席上犬養首相より若し内相辭職せば一蓮托生の外なしと極力慰留した結果内相も辭意を飜へし問題はなくなつた、今後とも單獨辭職はあるまいと見られる

優諚降下しても御辭退するが當然

居据らば首相の責任を糺彈

民政黨側の意向

【東京九日發電通】民政黨は今回の事件に對し恐懼措く能はずとし、愼重な態度をとり、政府今後の出樣を注目してゐるが、斯かる場合政府の進退は絕對的のもので、大命降下の優諚等あつても御辭退申上ぐべきもので、若し犬養内閣にして居据る樣なことあらば議會劈頭に於て臣節を全うすべしとの決議案を出し政治道德上より犬養首相の責任を糺彈する意向であると

高橋藏相の意見を求む

九日の緊急閣議で

【東京九日發至急報電通】緊急閣議は九日午前十一時二十五分開會高橋藏相を除き全閣僚參集し犬養首相より閣僚の辭表を奉呈した[illegible]る所有難き優諚を賜はりたる旨報告し、今後の對策を協議したる結果、森書記官長は犬養首相の命を受け午後零時四十分赤坂表町の自邸に高橋藏相を訪問し閣議の經過を報告し藏相の意見を求めた

臣節を全ふせざるも甚しい

永井幹事長談

【東京九日發電通】永井民政黨幹事長談

今回の不祥事件は恐懼措く能はず[illegible]內閣としては[illegible]ればその罪責に對しては[illegible]職を辭して[illegible]百姓を[illegible]責ひたいと思つた[illegible]優諚に名を藉り天恩に狎るるが如き態度に出たるは實に遺憾である所かる重大事件で辭職しないのは臣節を全せざる所以である、殊に當面の責任者たる内務大臣と[illegible]これ[illegible]むるものがある

流言蜚語の取締命令

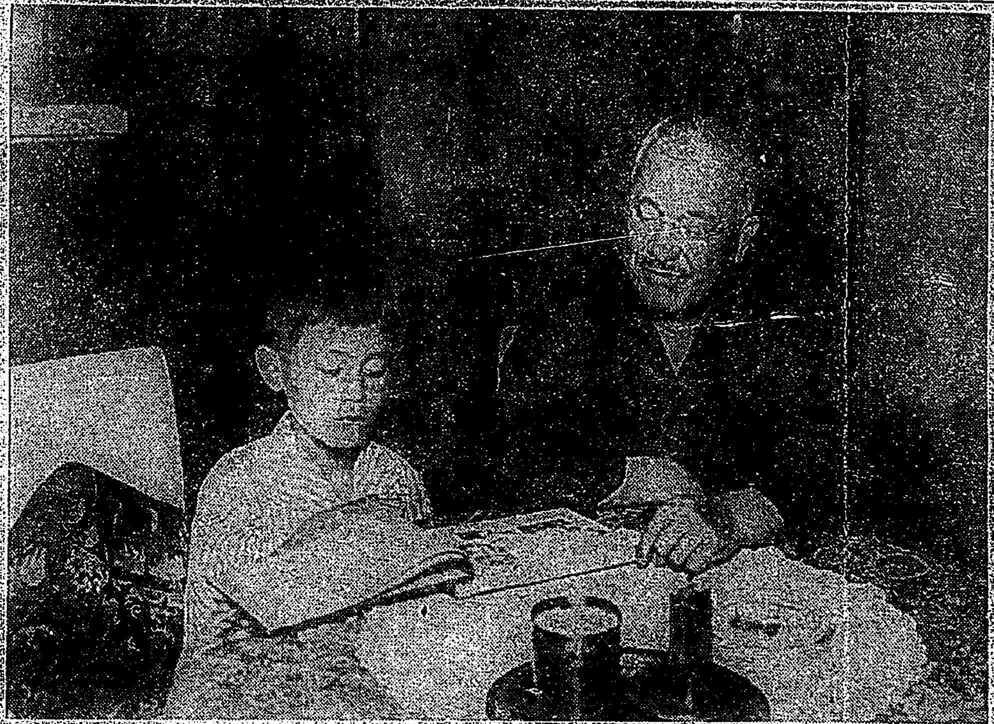
各地方長官に

【東京八日發電通】内務省は八日午後不敬事件に付き各地方長官に對しこの際流言蜚語を取締り人心の動搖を防ぐべき旨通牒した

警視總監の後任

大海原氏か田邊氏

【東京九日午後二時發電通至急報】警視總監の後任は大海原重義氏又は田邊治通氏が最も有力視されてゐる



新臺灣軍司令官阿部信行中將

警視總監の更迭

十日以内の模樣

【東京九日發電通】警視總監の處分は文官懲戒委員會で決定せらるるが更迭までには一週間乃至十日を要する模樣である、後任には東京府知事長谷川久一氏元警視總監長岡隆一郎氏、前沼庄平氏等が擬せられてゐる

犬養首相

參內

【東京九日發電通】犬養首相は午後一時二十五分宮中に參內同三十分より擧行の陸軍親補式に侍立して退下後四十五分更めて陛下に拜謁仰付られ首相は時局重大の時機に際つて在任國務大臣は優諚を畏み留任して國務に當り奉る旨を奉答し同五十分退下した

森官長以下の

辭表は撤回

警視總監のみはそのまま

【東京九日發電通】森書記官長以下の辭表は撤回されたが警視總監の辭表はその儘となつた

決議案提出は

愼重に協議

【東京九日發電通】[illegible]談を發して全部居据はつたことに對し民政黨では臣節を全ふせざるものとして九日取あへず永井幹事長の名を以て反對意見を明かにした、然し本問題を以て休會明議會に『臣節を全ふせざるものと認む』旨の決議案を提出すべきか否かに就ては愼重協議する由

與黨幹部會

【東京九日發電通】與黨幹部會は九日午後一時半開會犬養首相以下の留任を諒解し更に午後三時より代議士會に報告した

政友會

代議士會

【東京九日發電通】政友會代議士會[illegible]臨たるに鑑み愼重取扱ふに決した

私の今後？

お察しに任せる

芳澤大使奉天で語る

【奉天九日發電通】芳澤大使は九日午後一時二十分奉天著二日間滯在諸懸案に付き協議し十一日午後三時二十五分發長春に向ふ、大使は車中に出迎へた記者に語る

犬養内閣が留任したれば私の今後もお察しに任せる滿洲問題に關し日支兩國が如何なる態度方法を以て來るかは假定の下にお話する譯に行かぬ聯盟理事會は三回に亙り非常な困難に遭遇したが我等の努力を拂つて漸く切拔けた調査委員の派遣に就ては委員の派遣も決つた譯だから滿洲に來れば一日も早く[illegible]中に軍司令官や滿鐵當局とよく打合せ今後に處したい

民政黨脫黨組の

新黨樹立申合せ

安達氏の參加は疑問

【東京九日發電通】民政黨脫黨派の中野正剛、[illegible]氏等は九日會合し來る十五日前後に新黨を樹立するを申合せたが安達氏の參加は[illegible]

會は九日午後四時閣會犬養首相より[illegible]說明したる後この重大なる責任を全ふするためには全然一致の努力を乞ふと述べ四時半散會

佛内閣は

總辭職か

【パリ九日發聯合】ラバール内閣は十二日總辭職と見らるる右は閣議マギノ陸相の死に次ぎブリアン外相辭任の爲で、ブリアン氏は今後無任所大臣として[illegible]となるであらう

ブリアン外相に留任を懇請

佛國首相が

【パリ八日發電通】佛外相ブリアン氏は病氣のため本日首相ラヴアル氏に辭表を提出したが首相は内閣の危機に際して之が受理を肯ぜず切に留任を懇請しブリアン氏も遂に[illegible]を約したが、ブリアン外相が向くまで辭任を通す時は佛内閣は總辭職を斷行すべく而もその實現は單に時の問題と見られてゐる

侍從武官を

御差遣

在支將兵御慰問のために

【東京九日發電通】天皇陛下には九日更に支那各地にある我將兵御慰問のため侍從武官騎兵中佐石田保秀氏を御差遣の御沙汰あつた

阿部若山二宮三中將の

親補式九日擧行

その他は首相から職記傳達

【東京九日發電通】在京中の阿部、若山、二宮三中將の親補式は九日午後一時半宮中で擧行された、其他は犬養首相より職記を傳達された、異動左の如し

臺灣軍司令官　陸軍中將　眞崎甚三郎
免本職補參謀次長
第三師團長　陸軍中將　川島義之
免本職補教育總監部本部長
第四師團長　陸軍中將　阿部信行
免本職補臺灣軍司令官
第五師團長　陸軍中將　寺内壽一
免本職補第四師團長
參謀次長　陸軍中將　二宮治重
免本職補第五師團長
工兵監　陸軍中將　若山善太郎
免本職補第三師團長

松山を含む大臺北の

市區計畫案決定

九日の市區計畫委員會で

三十年後における臺北市の大發展を豫想して行はれる臺北市區計畫委員會は既報の如く九日午前十時から總督府會議室において開會された、出席委員は委員長木下長官をはじめ白勢總局長、池田道路港灣課長、井手營繕課長、小杉參謀長、殖產局長、小栗内務局長、小山敎育課長、井上警務局長、大塚交通局長、三宅遞信部長、矢部經理部長、深川事務官、平山臺北州知事、内海市尹、西村地方課長、羽田衞生課長、中田商工課長、栗山、前田、永野各技師、小川、小野兩幹事

木下委員長開會を宣し兼ねて特別委員に附託された本件は前後九回に亙り愼重審議の上決議されたる諮案につき池田特別委員長から詳細なる說明あり、特別委員會において決議された通り滿場異議なく可決され其他二、三委員から希望意見等あり十一時四十分閉會した、この委員會で決定した臺北市區計畫の内容は左の通りである

一、臺北市區計畫區域　臺北市、松山庄

二、街路新設並擴築　將來人口六十萬人を收容する大臺北市の交通根幹となるべき幹線街路のみにして幅員二十米乃至四十米にして其主なるものは

東西路線　十七路線

南北路線　十二路線

淡水河及北隣河の洪水氾濫を防止するため防水堤防を兼ねた二路線

特殊街路として中央に排水溝を設けたもの二路線

三、公園の新設擴築

大小公園　十七ヶ所

公園道　四線路

右計畫は將來發展の都合を見て隨時實施されるものであるが差當りの效果は道路豫定地となつてゐる所などには家屋の建築を許さぬから將來市の道路新設に當り家屋移轉料其他を支拂はずに濟むこととなつたことである

平山知事が

天機並に御機嫌奉伺

平山知事は臺北州下官民を代表し九日左の通り天機並に御機嫌奉伺の電報を發した

一木宮内大臣宛

州下官民を代表し謹みて天機を伺ひ奉る

右御執奏を乞ふ

河井皇后宮大夫宛

州下官民を代表し謹みて皇后陛下の御機嫌を伺ひ奉る

右御執奏を乞ふ

入江皇太后宮大夫宛

州下官民を代表し謹みて皇太后陛下の御機嫌を伺ひ奉る

右御執奏を乞ふ

太田總督

鵞鑾鼻視察

十一日朝臺北發

太田總督は十一日午前八時三十分臺北驛發左の日程にて鵞鑾鼻視察の途につくが小林秘書官、佐藤警視、小宮警部、山中屬が同行する

△十一日高雄泊△十二日高雄發自動車にて四重溪泊△十三日四重溪發鵞鑾鼻を經て[illegible]泊△十四日[illegible]

山口視學官は

十一日に離臺

文敎局視學官山口重知氏は今回退官して來る十一日午後二時廿八分臺北驛發にて基隆に向ひ同日發の[illegible]にて渡航する由。在職約十年、上京後は[illegible]として東京から

へ行く部學生の思想方面その他の指導監督の任に當る由である

木下長官

操觚者を招待

木下長官は十二日午後六時より官邸に總督府關係操觚者を招待して晚餐會を開催する由

商業登記公告

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）[illegible]

右昭和七年壹月七日登記　臺北地方法院

●株式會社臺灣銀行（支店設立）[illegible]

右昭和七年壹月七日登記　臺北地方法院[illegible]

●株式會社臺灣商工銀行（支店）[illegible]

右昭和七年壹月八日登記　臺北地方法院

[illegible]

▲內科▼

吉田醫院

[illegible]

正月には一家團欒の支那料理に限る

特徵ある勉強ぶり

出張料理

市場内　來來軒

其他各樓　西門　電 512番 3706

道具一式御持參致します

御一報下されば直ちに御伺ひ致します

本日店員慰勞ニ付休業仕候

晝間北投公共浴場ニ於テ

夜間芳乃館ニ於テ活動見物

榮町賣出會

生徒募集　晝間一月十日　夜間每月十日開始

活動寫眞應用自動車解說フィルム（全十三卷）

臺北市[illegible]番地（電話[illegible]）

公認　東洋自動車講習所

規則書[illegible]

國產新高風船チウインガム

●世界的傑作　●齒牙の保護と消化の增進　●進物好適品

內科、眼科　本町二ノ二（電話二四〇）　大竹醫院

肛門梅毒科　表町二ノ二〇　肛門病院

王妃化粧石鹸
スメグレたる
御化粧
Let try Woohy
WOOHY
No.10

●愈々最後の店仕舞大投賣

全商品賣盡デー

十日●十一日

十二日●十三日

十四日（五日間）

臺北市京町[illegible]　電九四七番

㊞定

佐藤吳服衣服店　閉店

本島人運轉手が
蕃人四名を轢く
一名は卽死三名は瀕死の重傷
高雄州潮州庄での椿事

【高雄電話】高雄州潮州郡潮州庄五魁寮運轉手邱添丁（[illegible]）は八日午後四時半頃自動車を運轉して潮州から恒春に向ふ途中潮州郡枋山庄南勢湖派出所附近で通行中の蕃人四名を轢倒し死者一名重傷三名を出すと言ふ椿事を惹起した、屆出により南勢湖派出所員が現場に急行死傷者を收容すると同時に運轉手を引致取調中だが被害者は潮州郡枋山庄チョコマリフ社の蕃人カブラバイク、（[illegible]）死亡カバブランブチャチュイ（[illegible]）カブラチュイ（[illegible]）カバリュイソロバイフ（[illegible]）の四名でその內カブラバイクは兩足大腿部其他數ケ所を轢かれて程なく死亡し其他の三名は何れも瀕死の重傷である、原因は詳細判明せぬが自動車が同地を進行中被害者中の一人が道路の左側から飛出したので方向を右に換へんとしたが間に合はずこれを轢倒して更に道路の右側に避けてゐた三名を轢いたものらしく目下引續取調中である

臺南野球場開き
二月六日に擧行
全島八野球團を招待して試合

【臺南電話】旣報の如く來る二月下旬を以つて全部の竣功を見る筈の臺南市大南門外の大野球場開きに關し九日午後三時より體協支部野球部關係者その他は市役所會議室にて實施行事その他につき[illegible]の說明に基づき打合せを行ひ結果大體左の點を打合せ決定の上三時半解散した

△各部は臺南野球場グラウンド開き期日を二月六、七兩日とし

△台北CB、鐵道、新竹、臺中、嘉義、高雄、屏東並に臺南の八團を集め組合せ抽籤の上試合をなす事

△招待者には記念品を贈呈する事

△當日招待者の外は場內整理の爲入場者一名につき十錢宛を徵收する事

尙各團の招聘係として市役所より二名並に臺南野球協會代表[illegible]氏が近日中に出張する筈である

北港婦人交禮會 北港郡

北港婦人會では恒例に依り同會の主催にて一月七日午前十一時より北港公會堂にて一般婦人交禮會を開き參加會員相當多數にて殊に前年にない有志の盛況があつて一層の盛會であつた

臺南州下の
各組合總會日割
成績は大體良好

臺南州下における本年度の各產業組合總會は大體本月中旬より一齊に開始さるる事となつて居るが一昨年以來州下全組合に對して行つた內容監査に依つて自然收支の本質的な成績を見て居ると共に一面經營成績も一般に良好で八分配當を爲し得る程度のものは大多數を算して居る狀態だがそれ等の關係から例年總會等に當つて混亂を見るが如き事は漸次減少するであらう、今各市郡下各組合の總會日割を掲ぐれば

臺南市　一月十七日臺南信用、十八日同盛民信用、二十四日臺南興信會及び同友信用、三十日同[illegible]信用、二月二日臺南[illegible]、同[illegible]で何れも臺南開催、[illegible]次に未定

新豐郡　一月九日仁德信用及永寧信用、十一日關廟信用及安順信用、十二日歸仁信用及永康信用、十三日龍崎信用

新化郡　一月十七日新市街信用、十八日大[illegible]信用購買、十九日大[illegible]信利、二十[illegible]信購、二十三日安定信用、二十四日山上信[illegible]、二十五日玉井信購利、二十六日楠西信用、三十一日[illegible]化信用

曾文郡　一月十六日大內信購、十七日官田信用、二十日六甲信用、二十三日下營信用、二十五日麻豆信用

北門郡　一月十一日七股信購販利、十六日將軍信購販利、十五日中洲信購販利、十七日北門興信購販利、十九日西港信購販利、二十一日[illegible]信購販利、二十二日佳里[illegible]

新營郡　一月十五日[illegible]信購利、十六日新營信購利、十七日店子口信購利及[illegible]信利用、二十一日番社信購利、廿一日[illegible]、二十二日鹽水港信販購利、二十五日[illegible]

嘉義市　十日嘉山信用、十六日嘉義信用、[illegible]

宜蘭の婦人交禮會（八日）

二十三日虎尾信購、二十四日西螺信用、二十五日土庫信購、三十日東勢[illegible]、十六日埔姜崙信購、[illegible]販購利

北港郡　一月十八日元長信購利、二十日頂茄萣信購販、二十四日北港信用及四湖信購利、二十六日口湖信購利

東石郡　一月九日朴子販賣、十日大保信購利、十六日朴子信用、十七日港墘信購及義竹信購販利、二十二日蒜頭信購利、二十三日布袋信用、二十四日六脚[illegible]信購利用及東石港信用、三十一日鹿草信用

高雄州下警官
某事件で表彰

【高雄電話】高雄州屏東郡警察課巡查部長高井文六氏は某重大事件の功勞者として九日州警務部で本田警務部長立會の上野口知事より表彰狀を下付された

高雄署の
非常召集

【高雄電話】高雄署では九日午前三時を期し非常召集を行ひ[illegible]桃子園に[illegible]現はれ高雄市を襲撃せんとするとの假想に基いて行動を起し午前九時西子灣に到着して[illegible]を解き石井署長の講評あり[illegible]長の訓辭があつて十時半解散した

臺南武術始め

【臺南電話】臺南武德會支部の本年度武術始式は九日午後一時から演武場で行はれた、式後[illegible]があつて後警察官各中等學校選手一般民間よりの氣鋭の猛者を網羅し柔道部は永吉、西巻兩三段大將以下六十六名、劍道部は[illegible]大將以下八十八名が紅白に分れて試合開始されたが、何れも猛々しい熱戰振りを見せて同四時半終了、坂口支部長の賞品授與に解散したが塚田聯隊長、小山署長[illegible]警務部長外多數來觀者あり盛況であつた

北港郡武術始

【嘉義電話】北港郡武德會武術始式は一日午前十時より北港武德殿にて擧行し郡警察官[illegible]郡下人及び民間[illegible]より七十名參加し紅白軍に分れて柔劍道の[illegible]

東石郡武術始式

旣報嘉南州東石郡昭和七年武術始式は八日午前十時より演武場にて盛大に擧行され[illegible]郡守[illegible]其他[illegible]臨場の下に開始され種々妙技を演じ試合の結果[illegible]三段[illegible]勝し高[illegible]郡長より賞品授與があつて午後一時盛會裡に終了した

試合をなすと

臺南市協議會
十八日開く

【臺南電話】旣報の如く臺南市に於ける來年度豫算編成方針も大體の決定を見、從つて豫算の作成中であるが協議會は大體來る十八日より四日間每日午後四時より市役所會議室にて開かるる豫定である

花蓮港築港の
事務所建築入札
臺北の楊泉組が落札

花蓮港築港の前準備とも見られるべき同工事用事務所及倉庫建築工事は昨年下旬頃より入札の結果最低九萬七千八百圓で臺北の楊泉組が落札し正月上旬頃より工事に着手した、因みに右落札は最高の高雄[illegible]組の十三萬八千餘圓と四萬餘圓の開きがあつた

行方不明の幼女が
死體となつて發見
高雄から三里離れた畑中で

【高雄電話】客臘二十八日高雄入港の[illegible]丸で澎湖島[illegible]が妻と子供二人を連れて上陸した後旗後町の軒下で休憩中午前八時頃二人の子供が

行方不明

となつたのでその筋に屆け出て一方夫婦は狂氣となつて搜査したるも皆目判らず翌二十九日午前九時頃に鳳山郡下[illegible]庄大平頂で十歳になる男子が迷兒となつてゐるのを警官が發見、高雄署に照會の結果父親が迎へに行つたが[illegible]張化（[illegible]）の所在が判らぬので途方にくれてゐたが一月七日午後三時頃道路から約百間を距てる前記大平頂の[illegible]の中で

死體となつてゐるの

を農夫が發見したが場所柄其他の關係から犯罪に基因するものかも判らぬので鳳山郡警察課の急報に接し高雄州より甲田警察醫が八日現場に急行し死體を解剖した結果によると死後七日位を經過してゐるが他殺と認むべきものがなく[illegible]には何物もないので凍死したものと鑑定されたがかかる子供が道から三里餘りの右の場所に行つたその經路はよく判らないと

新營郡警察課の
寒稽古

臺南州新營郡警察課では恒例に依り八日より向ふ十五日間每朝六時より約一時間づつ同郡演武場に於て昭和七年の武術寒稽古を擧行する事とし同課員並に附近の各派出所員全部參加せしめ柔劍道、捕繩の個人試合があると

小室畫伯來臺

帝展派の新進洋畫家小室孝雄氏が此の間の船で來臺した、帝展には既に數回入選した人で潑剌たる畫風の持主である、臺北では南門町[illegible]合名文社の[illegible]方に滯在してゐるが近く中南部に寫生旅行に向ひ展覽會をも開く筈であると

屏東街協議會
月末頃開催

【屏東電話】屏東街では九日より三日間豫算編成會議を行ふが協議會は月末頃開催されるらしく本年度豫算は前年度に比し經常部で三萬圓內外臨時部を合せると約五萬圓程の減少を見るであらうと

國立公園候補地
タロコ峽地帶視察
淺野花蓮港廳長が

【花蓮港電話】花蓮港廳ではタロコ峽が國立公園候補地としての實地調査の爲近く田村博士が來花する事になつたので其前に公園地帶の範圍等について官民有力者の意向を聽取し大體まとめておいた方が便宜であらうとの點から淺野廳長は中野[illegible]課長を隨へ十一日から[illegible]、二十八日はタビトの佐久間神社祭典に參列のついでを以つて同地方初巡視を行ふ豫定であるがそれ等の初巡視は同時に公園地帶の視察ともなるもので[illegible]る二月上旬公園地協議會を開く豫定である

紅葉溪の堤防
工事著手

【花蓮港電話】既報紅葉溪護岸堤防工事は安武組の手で九日から愈々工事に著手したが竣功期は來る三月末日であると

北港信組打合

【嘉義電話】北港郡では九日午前十時より郡下各信用組合長及び上席書記を召集し郡會議室にて各信用組合の定期總會に關し打合會を開催した

老母を燒殺したと
家人から訴へ出る
高雄州下大樹庄の事件

【高雄電話】高雄州鳳山郡大樹庄小坪頂三八四[illegible]は[illegible]のために[illegible]に包まれ燒死されたと家人から訴へ出たが、その屆出について疑はしい點があるため取調べのため高雄州警察課宮城司法係は九日現場に出張した

臺東話題

◇…吉例による臺東消防組出初式は四日午前七時から海岸グラウンドに擧げられた、同式を中心に甲組、乙組、馬[illegible]、[illegible]青年團[illegible]の中に[illegible]として[illegible]、式は支[illegible]の[illegible]に始まり[illegible]

◇…[illegible]

[illegible]在りて我國の忠に際ゆる時今我が國は內外共に[illegible]消防組及他三團の消長如何に[illegible]と[illegible]の[illegible]を揃へ[illegible]、更に近くポンプ自動車の購入も見られるであらうと我が[illegible]

◇…[illegible]の年々の向上を聞き且つ見るは[illegible]であり、殊に[illegible]の時に[illegible]に土を盛る[illegible]

埔里點滴

▲正月氣分に[illegible]な[illegible]も消えた、工事の方も愈[illegible]となり會社から[illegible]に[illegible]木月から[illegible]なればより以上に埔里、魚池とも[illegible]ひの[illegible]も增さうといふもの、どうだろ、埔里、魚池合同で工事の爲に[illegible]を受けてゐる人々が協同し工事の人々の口の[illegible]を[illegible]めるやうな方法を講じたら、ちつとして客を待つより少し[illegible]に[illegible]かしたら

何か方法がありさうなもの、埔里に住んでゐる工事關係の家族も近々のうちに東埔や武界にお引越しして了ふとのことではあるし、そんなことになれば多少なりと埔里の景氣に影響して來る譯、何かすばらしい名案を持つてゐる者はゐないかなあ

▲ずつと以前埔里[illegible]の時などの田に水が[illegible]して來て困ると同地水利組合を相手どり[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐた者があつたが此の程和解が成立した、之に就いて同組合では十一日午前十一時郡會議室で評議會を開催

嘉義購買組合總會

嘉義購買利用組合にては來る十六日午後一時より嘉義公會堂に於て第五回定期總會を、嘉義信用組合は三十日午後一時より嘉義公會堂にて第十八回通常總會を開催すると

花蓮港濤聲

◇花蓮港街の本島人唯一の金融機關東部信用組合では十日公學校講堂で第十五回總會を開催するがこれに先だつて實業界新進の人人の中に[illegible]の運動が[illegible]、[illegible]の[illegible]をきくに[illegible]理事に[illegible]を[illegible]が[illegible]、[illegible]がありにも[illegible]であるといふにある

◇花蓮港鐵道出張所ではいよいよ本年はガソリンカーの運轉を實施することになつてゐるが利用者側からは一般に本當の便宜を計るためには早くこれが利用者側から意見を徵する必要があるから運轉時間の編成につき遠慮なき希望を聞く由であるが商工會等にしても一部代表者のみでは偏するので可成的一般の聲を重用したいと

◇花蓮港[illegible]支局の[illegible]裝置は十二月末で[illegible]いよいよ四月一日から作業を開始することになつてゐると

高雄專賣支局
酒煙草販賣高

【高雄電話】高雄專賣支局昨年十二月中の酒類販賣高は十三萬[illegible]百二十圓を示し豫定額に比すれば一千五百三十七圓の增加を示してゐるも前年同月に比べると二千八百[illegible]三四圓の減少を示し煙草は十一萬四千八百二十九圓で豫定より七千六百三十六圓、前年同月に比べ八百七十一圓の減少である、酒は大樽百八十五挺、小樽七十六挺、この價格一萬六千五百六十六圓は右の販賣高に含んでゐるが要するに酒の賣れ行は割合によい方である

鳳山郡大寮庄の
水利工事起工式
十三日曾公祠で擧行

【高雄電話】高雄州鳳山郡大寮庄における水利工事は工費五十二萬圓を要するが既に一部の入札を終へたので十三日午前十時より曾公祠に官民を招待し起工式を擧行すると、同工事による灌漑面積は一千七百二十六甲に及び[illegible]年度の[illegible]一萬九千二百五十圓で工事完成後は一期作田となすものである

山岳會の杉本、市村
兩市歡迎會

山岳會では來る十一日午後六時より兒玉町に新築落成せる[illegible]及新歸朝の市村[illegible]氏歡迎會を催す由に付會員は勿論友人知己の多數出席を希望する因みに會費一圓當日持參で希望の向は至急督府文書課內（電二一二〇）井上一男氏迄申込まれたいと

詐取した金を
情婦に貢ぐ
鳳梨共營を口實に

【臺南電話】臺南市明治町三ノ六二石火生（[illegible]）は共同鳳梨商經營を名とし知人某に百二十圓を出資させ之を騙取して[illegible]の始末やら情婦に貢いでゐたがその筋に探知せられて取調べ中である

屏東魚市場
十二月中扱高

屏東魚市場十二月中の取扱ひ高は二十二萬三千七百二十斤、金額二萬七千百六十三圓四十七錢で前月に比し四萬二千四百六十九斤、四千百六十四圓六十六錢の何れも增加を示し前年同期に比し三萬三百三十九斤、四千六百十二圓九十錢の減である、同月中は天候概ね良く一般漁撈も盛んであつたが高雄揚荷は內地移出の影響で入荷少なく中旬から下旬にかけ[illegible]の大漁の爲め東港方面より入荷多かつた入荷率は基隆三割五分、移入二割六分、東港一割八分、高雄一割七分其他平均[illegible]は十一錢九厘で前月より四厘安である

中村出張所長赴任

【花蓮港電話】花蓮港鐵道出張所事務主任に[illegible]を命ぜられた中村俊三氏は、八日夕刻家族同伴來花した

不良少年留置

【嘉義電話】嘉義市西門町四ノ一〇不良少年[illegible]（[illegible]）は九日午前八時頃同所宜春樓前の路上を徘徊中を西門外派出所巡查に逮捕され[illegible]により十五日の留置處分をうけた

屏東魚市場取
扱金額減收

屏東魚市場前年中の賣上總額は百三萬四千三百五十四圓で昭和五年の百三十四萬圓餘に比し三十餘萬圓の大減收を示して居るが勿論これは當年中の一般不況に依るものでそれだけ[illegible]手數料が減じたものである

金山

▲[illegible]會　金山信用組合では來る十四日午後一時から金包里[illegible]にて開催する筈である

▲保甲會議　金山分室管內の保甲會議は八日午前九時から保甲會議室にて開かれ、[illegible]分室主任の挨拶、次いで千葉巡查部長の訓示があつて同十一時頃に散會した當日の訓示、協議事項は左の通り

一、保甲制度に關して
一、役員の任務に付いて
一、米穀他行の取締に付いて
一、賭博取締に付いて
一、マラリヤ撲滅[illegible]に付いて
一、保甲經費徵收に關して（一月二十五日迄に納入すべし）
一、其他數項

南醫院開業披露

【臺中電話】今回臺中醫院外科醫長を辭した南信一醫學士は臺中[illegible]町に新築中であつた南醫院が落成し新春から開業したが十日午後五時から同業者其他多數官民を新築に招待し開院披露の祝宴を催すと

嘉義の武術始

嘉義武德會の武術始式は來る十六日午後一時より武德殿にて擧行し式後柔劍道[illegible]試合を行ふ事となり參會者は百二十餘名であると

中壢

▲初巡視　友田郡守、[illegible]部長は松林部長を隨へ來る十一日より左記の日割を以て管內初巡視をなす
△十一日[illegible]、楊梅、十二日[illegible]、三湖、十三日新屋[illegible]、十四日[illegible]、大坡、十五日[illegible]、十六日水尾、平鎮、十八日大崙、宋屋、十九日新坡、觀音、草漯

▲野球大會　郡下[illegible]主催の郡下野球大會は來る九、十兩日間中壢公及小學校のグラウンドに於て[illegible]しく開催するが當日の優勝隊には郡守より優勝のカップを授與することになつてゐる

▲ラヂオ放送　郡下小公學校兒童及び青年團、國語練習會員等は十日の晚臺北放送局に於て國語唱歌の放送を爲すと

花蓮港より

▲花蓮港の元旦は非常に靜かで淋しい位の感じを與へた位である、滿洲事件を[illegible]した譯でもあるまいが

▲本年は特に靜かであつたとは街民の感想が一致した所であるがそれだけ氣分が緊張してゐる反映であるかも知れない

▲官民の[illegible]を忘れさせぬためと一月三日には年中行事の[illegible]があつて[illegible]で[illegible]されたこの[illegible]は[illegible]官民家族の大會同

▲[illegible]といふと新春早々から[illegible]を行ふ様に聽こえるが實況はさうではない軍部と官と民と婦人と小兒とが[illegible]な[illegible]に集るから[illegible]の目的ではない新春早々から一家族が和かに集るといふのは[illegible]しい現象だ

▲獲物などはあつても無くても[illegible]

▲[illegible]軍隊の參加は[illegible]の表徵で[illegible]に對して心強くも愉快な感じを與へる警務の第一級を勤めたのも兵隊さんであつた

▲野つ原で街から仕込んで來た豚汁の飯を[illegible]も惡くはないその豚汁をバケツで[illegible]する情景も[illegible]

◇…北部[illegible]山林祭　[illegible]郡中[illegible]森林組合主催中北部[illegible]山林[illegible]一行十三名は[illegible]技手に引率され十日朝出發する事に決定日程は五日間である

竹南

▲…竹南の婦人交禮會は一月十日午後一時より俱樂部に於て開催することになつてゐるが當日は福引其他の餘興を催す筈である

▲…竹南郡下產業組合通常總會は左記日割に依り開催されると

△十六日中港信用購買組合△同日[illegible]信用購買販賣組合△十七日[illegible]信用購買利用組合△十八日竹南[illegible]組合△十九日頭分[illegible]信用購買利用組合△二十日[illegible]信用組合△二十五日三[illegible]信用組合

▲…竹南自動車合資會社及び竹南タクシー商會の貸切自動車は年末より開業されたが正月元旦には開業の宣傳ビラを撒き本月中は二割引き一般の人氣を[illegible]して居る

▲…頭分[illegible]氏は今般地方民の要求に依り[illegible]の自動車で[illegible]一般の求めに應ずる目的で本月九日より開業したが[illegible]多數の官民を[illegible]した

內臟・一般
性病・外科
加藤病院
嘉義市
醫學博士 加藤[illegible]
電話 二二三番・二二二番

內科、外科、產婦人科
齒科、レントゲン科
嘉義
同生病院
元山町通り
院主 醫學博士 [illegible]
電話 一〇六番

臺日庭球服裝

ミシマ印アルコール厨炉
自動安全裝置完成
分解式バーナー
專賣特許
實用新案登錄願濟

體裁優美燒きに最適

本器は自動安全裝置完備せるが故に絶對安全です
實演御一覽を乞ふ

家庭ガスの出現
お炊事一切を最もお手輕清潔に如何なる場所にも自由自在に得られ便利と經濟で頗る好評

發賣元 大阪本町五 島田屋商店
代理店 大阪[illegible] 湯淺七左衞門商店

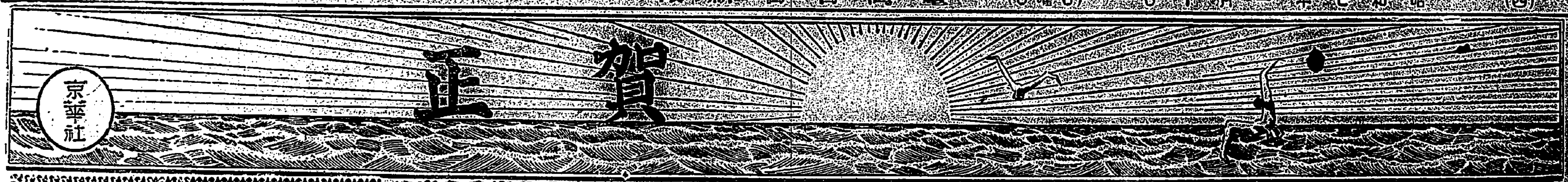
特約店
基隆市日新町 小川金物店
同 玉田町 河合仲三商店
臺北市榮町 石內商會
同 榮町 石黑商店
同 榮町 新原金物店
同 本町 [illegible]
臺中市大正町 藤原金物店
嘉義市大通り 山田金物店
同 本町 松本金物店
臺南市本町 [illegible]第二支店
同 本町 三共金物店
高雄市山下町 藤井金物店
屏東市場內 谷村商行
同 [illegible] 明石金物店
花蓮港街 小川浩商店
臺東街寶町 瀨川金物店
澎湖島馬公街 上瀧組金物店

貿易科 高等商業科 法學科（横濱市六角橋）
生徒募集
試驗地 横濱、京都、京城、福岡、名古屋、仙台、東京、大阪
詳細ハ切手二錢封入校則ヲ請求スベシ
横濱專門學校

一冊三十錢
樂

前號賣切れ二月號出た！
一流大家傑作揃ひ
鐵の扉（探偵小說）福田正夫
清水次郎長（長篇講談）[illegible]伯山
戀愛リレー（現代小說）小島健三
時雨七曲り（大衆小說）水島[illegible]太郎
道は遙に在り（戀愛小說）齋藤龍太郎
黃昏の鐵砲（大衆小說）長谷川伸
第一附錄 明治大正昭和死刑史
第二附錄 日支衝突抱腹珍談
第三附錄 世界結婚異風[illegible]
大衆小說、新作落語、漫談、漫畫滿載
旅行者必携全國主要列車時間表附
改正判大好評賣切れぬうち書店へ[illegible]
博英社 發行

娛樂雜誌
共



和洋紙卸問屋
大阪市東區安土町二丁目
合名會社 **清水紙商店**
電話本局長（九九〇番・九九一番）
振替口座大阪（五四三四）

優秀ナル
各種**欄罫製造**
其他木製附屬品製作
在庫豐富
內田欄罫製作所
內田龜吉
大阪市[illegible]四ノ目三十番地
電話船場四三〇一番
振替口座大阪一五四九〇番

象印印刷用インキ
SK
大阪 上海
黒越合名會社
特約店所在地
香港、厦門、汕頭、漢口、天津、奉天、長春
京城、釜山、臺北、長崎、久留米、熊本、門司
廣島、岡山、福山、松江、舞鶴、福知山、京都
名古屋、宇治山田、津

アサヒリーグボール
ア式フットボール
「コールイン」
バスケットボール
バレーボール
（多田先生編新規則）
ピンポンボール
金剛ボール

四大學野球聯盟[illegible]球
全國中等學校野球[illegible]球
大朝主催全國小學校野球[illegible]用
東大、京大、九大ア[illegible]
全國高等學校ア式蹴[illegible]
關西女子籠球協會公認球
京都[illegible]
大日本排球協會關西支部
京都排球協會公認球
バレー、バスケット、ボール、スコアブック
大日本卓球聯盟公認球
Y、M、C、A、Y、M、C、A、卓球、スコアブック
日本學生野球聯盟公認球

發賣元 京都市寺町御池
山本商店

紙問屋
大阪市東區唐物町二丁目
合名會社 **村井紙商店**
電話船場（長）二四五一番
　　　　　　二六一六番
振替口座大阪二九二五番
電信略號（ム）又ハ（ムラ）

和紙　洋紙

僞造變造防止
專賣特許
安全紙
元印刷局抄紙部長 佐伯工學博士經營特製 特種製紙株式會社
小切手用紙
手形用紙
官廳其他重要證用紙
台湾代理店台北市 小塚本店

丸三合名會社
大阪市西區靭上通一丁目
電土二三六九・四一二四

洋紙問屋
株式會社 **博進社洋紙店**
東京本店 東京市神田區駿河台北甲賀町
大阪支店 大阪市東區瓦町二丁目
名古屋支店 名古屋市東區宮町一丁目
神戸支店 神戸市神戸區榮町六丁目
福岡支店 福岡市[illegible]行町
門司出張所 門司市神町二丁目

學用品
ノート
運動具
印ノート
株式會社 **文運堂**
大阪市東區瓦町二丁目
電話本局四二二九・三三八番
振替口座大阪八三六五番
本店 東京市神田區駿河臺北甲賀町
支店 名古屋市中區末廣町三丁目
　　 門司市仲町二丁目

大阪商船株式會社專屬
朝鮮郵船株式會社專屬
北日本汽船株式會社專屬
內外航路貨物取扱業
船舶賣買傭船仲介業
稅關貨物取扱人
日本海上保險會社代理店

資本金五拾萬圓
山中運輸株式會社
大阪市西區立賣堀南通六丁目（[illegible]前）
電話新町（一一七二番、一七三番、長五七〇番、八二九番、四・四四〇番、四・四四一番、四・四四二番）
神戸支店（神戸市海岸通四丁目 電話三宮四〇七・二〇三・二二〇四番）
堺出張所（堺市栄橋通二丁目 電話四〇番）
富島町出張所（市內富島町古川橋 電話西一五五六番）

臺灣部

市內荷受所

川口波止場	電話西二、九六四番
吳服橋	電話本局三、四三三番
四ツ橋	電話新町一、六七九番
信濃橋	電話本町一、五八二番
稅關內	電話西一五五六番
安治川住友倉庫	電話土佐堀二、九八六番
國津橋	電話西一、五三四番
高津六番町	電話戎四、五一六番
谷町荷受所	電話東四、一〇九番
今宮惠美須町	電話戎二、〇〇九番

臺灣貨客專門取扱
日本近海郵船株式會社專屬貨客元扱
大阪市西區川口町九番地（川口町停留所前）
合資會社 **後藤回漕店**
長電話西（五一〇番・二〇九七番）（六八番・四一五二番）
振替貯金大阪二八八三番
㊞匯送計算所加盟店

横堀荷扱所
西横堀（靭北通り一丁目）沿側
電話土佐堀（三九五一番・三六〇二番）
港區富島町 郵船倉庫內 電話西三八六番
西區松島橋 郵船倉庫內 電話新町一二五〇番

糖業の善處すべき 金輸出禁止の對策

過剰糖處分と糖業の基調整理

砂糖同業會幹事　山下久四郎

三

上掲の如き大過剰糖を擁する我糖界が、不況に呻吟することは當然である、それで昭和七年の糖界も甚だ悲觀せられてゐたのであるが、端に金輸出禁止の實施によつて糖界の人氣に變化を與へた、即ち爲替の低落、輸入採算點の向上を材料として、斯然糖價の昂騰を演じ東京砂糖取引所新糖先物相場は昨年十月の安値十四圓三十錢から既に十八圓七十錢方迄約二割方の昂貴を示すに至つた、而して糖價の昂貴による手持品及先物値上りは、過剰糖が多い丈けに製糖會社の利益も大いに見込まれて、之が株式相場に反映して悲觀より樂觀に轉向せんとする人氣が濃厚になつたのである、然し乍ら糖界の實勢力から考へて見ると、斯の如く無條件に樂觀されないものがある、即ち如何に糖價が高くなつても、糖界の共同が改善された結果であるならば、それは肯定出來るものであるが需給状態が何等改善のあとを見ないものであるにおいては、當然實勢に支配せらるべきであり、且又糖界で特に重要視せられてゐる過剰糖の處分問題を考へ、[illegible]による八一九年期原料代[illegible]買收價格決定が如何にすべきや等と問題を舉げて見ると、金輸出禁止の實施に際して大いに爲すべき對策に努力せなければならない、それには多少の犠牲をも作はねばならないのである

四

過剰糖處分問題に就て、金輸出禁止は絶好の機會を與へたものと云へる、即ち爲替の下落によつて輸入採算は向上して引合難となるが、之と反對に輸出の場合は容易となつて輸出を促進するのである、之が本質論は省略するが、糖界にては國內では糖價高となつて、而も手持品の値上り利益、新糖の利益が出入するのであるから、それ丈け不當取得があるのである、されば過剰糖の處分を遂行するに際しても此の利益を多少犠牲にして過剰糖輸出に對する出火の一部に振り當てるといふ政策を取ることは自然考へられるところである、而も輸出が有利に働くに於ては、[illegible]となる

此の際過剰糖の處分を行ふといふことは寧ろ我糖界として當然取るべき手段であらねばならない、唯問題とすべきは目支時局の惡化によつて我が砂糖輸出市場の梗塞してゐることに就てである、之は本文の議論の他とせねばならない、過剰糖の輸出に就て更に別個の觀點から昭和七—八年度の原料代引下げに關して、生産費の引下げを要した點から見ても、過剰糖の賣行は寧ろ必然であらねばならない、即ち原料代、生産費を如何に引下げても、過剰糖の賣價が依然堅糖せらるるに於ては、原價計算にて何等の過酸を圖つたことにならないのである、七—八年期糖の原料代が一擔當り一圓三十錢方引下げても過剰糖の賣價が暴りに一四三十錢が計上さるるとするならば何の利益も見られないことになる、之を換言すると會社の負擔が他に轉嫁せられたに過ぎない結果となる

新竹合同兩電氣

經營の合理化を計る

新竹電燈會社と合同電氣會社の兩社は今回經營の合理化と云ふ意味に於て送電線を竹東、[illegible]、竹南、中壢及苗栗街に三百キロの送電契約が成立し三月から供給することとなつた、即ち今日迄竹東は合同電氣にて又苗栗は新竹電燈にて各々ガス及びデーゼルを原動力として供給したが同地方の電力消化も漸次膨脹増加しつつあるので合同電氣新竹電燈共に漸次供給不足を感じ或は新規に發電所設置の議もあつたが何分月潭工事も此の三ヶ年間に完成し完成後低廉豐富なる電氣を供給する事となるので新規の發電所は將來小規模なものとなると云ふ意味に於て新竹合同兩社は電力を相互に融通の結果今回成立したもので電力會社としても日月潭工事完成後の送電計劃即ち一次送電線路は十五萬ボルトに設築されるので現在臺北から桃園を經て新竹迄三萬ボルトの二次送電線路があるのを竹南、苗栗に延長して北間二十哩二次送電線路を目下新設中で電力會社は八萬圓の豫算を計上して工事進行中であるとの二次送電線路の完成と共に明るい電氣が竹南、苗栗兩所に送られる事となるので同地方としては非常な福音であると歡迎されてゐる右は電力との合併を意味するものでなく全く新竹合同兩社の將來に向つて營業の合理化と見られるものである

文山郡の 茶摘賃引下

一圓に付七十斤以上

臺北州下における銘茶の産地として聞る文山郡では各庄に茶業改良會を設けてゐたがこれを統制する聯合會がないので茶摘み賃の如きは區々で理想的に行かぬので今回聯合會を組織しこの聯合會の事業の一端として茶摘り來るべき春茶からの茶摘み賃を統一することとなつた、臺北州に通知があつた郡は從來同郡下の茶摘み賃は他郡に比し最も高く一圓につき五十五斤乃至六十斤となつてゐたが茶況不振の今日何時までも高い賃銀を拂つてゐては茶農は立つ瀨がないので一圓に付き七十斤以上と決定しこの旨を夫々通知したが茶摘女側では不服で反對を唱へてゐる同地方の茶摘女は大部分出稼人で常に[illegible]を告げてゐるので稍ひ合ひとなり從つて賃銀も非常に[illegible]

臺灣貯蓄

臺南支店

益々好成績

高く淡水郵便局の如きは一圓に付八十斤から百斤となつてゐるのに前記の如く五十五斤乃至六十斤としてゐたもので出役選及び茶業改良聯合會で決定したものである[illegible]ものと觀測されてゐる

刈木現在の預金九十萬圓を突破し貸出九十七萬四千圓に達し下半期間の純利益一萬三百七十四圓にして同行拂込資本二十五萬圓に對し年一割六分三厘の利潤となる好成績を收めてゐる、要するに同行支店の好成績は同支店開設の昭和三年三月頃もなく同行現業取締役就任し親達宜しきを得たものの如くで同支店新設後の各半期末日現在の預金貸出及純利益を示すと左の如くである

	預金	貸出	純益
三年 下期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年 上期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年 下期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年 上期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年 下期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年 上期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年 下期	[illegible]	[illegible]	[illegible]

十二月中の移出糖

百二十九萬擔に上る

前年より七十四萬五千擔増

稅關調査による十二月中の移出砂糖の仕向地別並に前年同月との比較對照をいれば次の通りであるが數量は合計百二十九萬百十五擔、價格は一千百八萬圓で前年同月に比し前者は七十四萬四千九百七十八擔、後者は五百八十四萬圓の增加を示した（單位擔、△印減）

仕向地	十二月分	比較增減
小樽	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
横濱	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]
門司	[illegible]	[illegible]
三池	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]
其他各地	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

優色茶苗

四百五十萬本

臺北州下に植付く

臺北州では州下茶業の改良を圖るため優良茶苗四百五十萬本を育成しこのうち四百萬本は昨年中に各郡に配付し目下植付中であるが十日からは更に淡水で育成した紅茶用心仲及び十六日からは新竹州で育成した青心大有種を一般に配付し植付けることとなつたが近來州下茶農家の自覺著しく良種がないと優良茶は得られないといふことが判つたので希望者が多く全く奪ひ合ひの狀態であるので州當局では其の配當に苦心をなしてゐる狀態である、斯くの如く狀態であるから今北州下の茶業もウーロン茶、包種茶、紅茶の原料として理想的のものが得らるるやうになり數年の後には全然面目を一新するであらうと

臺灣の工業化と 臺灣自體の資本集積

九州に學ぶところが多い

臺灣電力小倉調査課長談

昨年末約二ケ月間に亙つて電源調査の爲め九州一帶を視察し去る二十九日歸臺した臺灣電力小倉調査課長は九州一帶の經濟事情その他に就て次の如く語る

今回の視察に就ては九州一帶各地各工場その他に就て詳細に調査したが九州と臺灣とを比較對照するに大いに學ぶべき點が多々ある、即ち

九州 一帶は資本の集積著しいと云ふ事が直感される、元來九州は九州自體で九州の產業を殆んどまかなつてゐるところである勿論三井、三菱、住友、鈴木その他の大資本家も入込んでゐるが兎に角九州の資本によつて動いてゐる事がハツキリと判る、九州自體が今日斯く資本の集積されたと云ふ事は主として石炭であると思ふ又この石炭と相連結して各種工業が結びつけられて今日の大を爲したものである、一方

臺灣 は領臺三十餘年を經過した今日でも臺灣自體の資本によつて興つた工業その他の事業が少い、臺灣としては製糖業が大宗を爲してゐるも甲種事業の仕事でその等の資本の多くは內地から入つてその利益の如きも從つて內地に持つて行かれるのでそれ以外工業方面への投資などは甚だ少ない、又石炭の如きもその利益は內地にであつた、そこに[illegible]

同數されてゐる、而して臺灣人を主とする農業の如きもその利益によつて工業化の域に至らない、ここが九州と大なる相違のあるところで比較にならぬ事を羨望とする九州の工業としては先づ

鐵工 業から進出してゐる製鐵、紡績、肥料その他の諸工業が多く又盛んである、而も紡績業が案外に多い事である、次に電力方面は過剰にして今日迄肥料方面に消化されてゐたがそれが肥料の內大牟田の石灰窒素法による硫安などが行詰りを生じ過剰電力の消化に困難してゐると云ふ現狀であつた、それでも新しい火力、水力發電所が最近出來上つてゐるものもある等で、ここ暫くの間は九州一帶は電力過剰に苦しむ時代である、然るに昨年の十月頃から幾分この過剰電力が緩和された感がある、即ち不況も之がドン底と云ふので

回復 期に入ると云ふ見方[illegible]

と共に金輸出禁止があつたので好個の機會に逢した事は明かである、尤も右は統計的に未だ表れてないが更に好影響である、而して右金輸出禁止による九州一帶各工場の立場を考へると物價は何れも相當に騰貴してゐる、然しこの値上りは荷動きによつて上つたものでなく又將來高くなると云ふ樂觀でもない、詰り在庫品なりを一齊に

一律 に高く評價し將來のインフレーションを豫想期待して釣上げたものもある、大部分は貨幣價値の低下卽ち爲替的に評價したものであつてこの評價も多少勢力があるものと見られる、或工場で朝鮮の或土木事業の爲めに從來特命註文があつたのが今回金輸出禁止後指名入札する事となつたのでその場合どんな入札をするかと云ふ際內部に二つの議論があつた即ち一は競爭入札だから

特命 である場合よりも勿論安くせねばならぬと云ふ意見と又一方は特命でないのだから將來の値上りを見越して高く入れやうと云ふ二說に別れたが結局後者即ち將來の高値見越說が勝を占めて採用され金の再禁止相場を入れ更に特命である爲めに特に高くなる事を見越して高く入れたその結果によると外の

競爭 入札者より遙かに高く落札したと云ふ事によつて之を見るも一般に金の再禁相場で物が高くなると云ふ事を特に見越してゐる事である、この一齊一律の釣價値上りはあながち勢力が無いと斷定が出來ない、要するに九州一帶の地は臺灣のそれと相反してゐるが臺灣も九州自體の如く臺灣は臺灣自體の資本集積によつて將來工業化して行く事が最も喫緊事である事が痛感されると共に日月潭工事完成後の

電力 消化、工業化が大に注目され又充分此處を研究を要する秋であると思ふのである

一月中移出糖豫想

二百七十八萬餘擔

【高雄電話】高雄、基隆兩港に於ける一月中の內地移出糖は二百七十八萬四千擔を豫定されこの内高雄港は二百四十萬七千擔、基隆港三十七萬七千擔見當でこれを各社別に分てば大約次の如くである

	高雄	基隆
臺灣	八〇萬擔	三萬擔
大日本	四七萬擔	五萬擔
明治	六三萬擔	ナシ
鹽水港	三三萬擔	ナシ
新高	一八萬五千擔	ナシ
其他	六二萬擔	ナシ
帝國	ナシ	二五萬七千擔
昭和	ナシ	三萬二千擔
新竹	ナシ	八千擔

尙これに要する配船は三井八隻、近郵十二隻、辰馬十隻、商船十三隻見當である

丸糯の移出と 舊正手當

賣値は賣出はる

二期丸糯は値高の爲め引締き出廻り多く最近前一日一萬袋內外に上つてゐる、産地としては舊正迄に商用資金に換へねばならぬので値惚れ賣り物多く所謂値が米を呼ぶのであらう、八日迄の移出累計九十四萬五千袋に達し此內新年以來の移出約十萬袋を算してゐる、尙

シトロン値上

帝國三矢サイダーの値上げに引續き日本麥酒會社のリボンシトロンも一月から一箱に付一圓値上の旨臺商會に入報あり同日鶴發納合名會社の白鶴サイダーも一月から一箱八十錢方値上げ實行の旨近藤商會に通知があつた、キリンレモンは未定である

米界波瀾

屏東地方の 産地賣出し跡上向

【屏東電話】屏東地方の米取引は八日前中五圓八十錢より九十錢を極へ四五手は商品薄で保ち出來なかつたが夕刻大資本閥で購入の報につれ屏東附近の米商は屏東街の移出商へ殺到五圓六十五錢より六十錢で二十車、三十車と續々賣りに出て高雄方面では五圓五十錢迄下向いたとの聲がある同夜移出商は十二時頃迄各の應待をなし米商の中には氣迷ひで徹宵したものもあり元米にない異常な光景を呈したが之は一時の現れで前日引上げ[illegible]

た潮州、溪州各方面からは九日朝米價々高利價で來賊してゐるが前日の樣な混雜はなく內閣の安定を見越し賣る相場は上向いてゐる

昨年の移出米

六百八十五萬六千擔

稅關調査による昭和六年中の移出米累計及び前年同期間の對照は左の通りであるが十二月中における移出累計は百二十七萬九百五十六擔で昭和六年中における移出高は六百八十五萬九千六百廿十擔で昭和五年に比し百九十萬七千三十三擔の增加を示した（單位擔△印減）

仕向地	昭和六年數量	前年比較增減
小樽	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
横濱	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]
門司	[illegible]	[illegible]
三池	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
神繩	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
其他各地	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

移出米累計

丸糯九十四萬餘 蓬萊四十七萬餘

その後の基隆港移出米並に之が仕向地別は左の通りであるが移出累計は次の如くで丸糯は遂に九十四萬五千袋を數ふるに至つた

二期蓬萊米	四七七、四〇五袋	
同 在來米	一五二、二九一	
同 丸糯米	九四五、五八〇	
同 長糯米	一四〇、四九二	

尙一日の出廻は一日一萬數千を算してゐる

△おれごん丸（九日）蓬萊三池揚五〇〇袋
△扶桑丸（八日）蓬萊米門司揚三、五〇〇袋、宇品揚一〇〇袋、尾道揚二〇〇袋、神戸揚三、四

臺北鐵道の 臨時總會

法院の命令で 十一日開催

臺北鐵道株式會社に對し臺北地方法院より臨時株主總會招集命令が發せられたので來る十一日午後二時より同會社に於て臨時總會を開催することになつた

昨年下半期の 臺北手形交換減少

前年より四百二十一萬七千圓減

臺北手形交換所の昨年下半期中に於ける手形交換高は枚數に於て十四萬四千四百四十七枚にして此金額七千四百三十一萬八千餘圓にして前期即ち昨年上半期に比較すると金額に於て五百四十九萬六千圓を增加してゐる更に之を前年同期に比較すると四百二十一萬七千圓を減少してゐる各種商品の值下りと共に市況不振であつた結果である右昨年下半期間の各銀行別交換高は[illegible]

	交換手形	持出手形
臺銀	[illegible]	[illegible]
三四	[illegible]	[illegible]
商工	[illegible]	[illegible]
彰化	[illegible]	[illegible]
勸銀	[illegible]	[illegible]
華銀	[illegible]	[illegible]
臺北局	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

[illegible]

東西南北

一月は銀行會社總會の[illegible]合などの總會月で金融界[illegible]や州の勸業課[illegible]へと多事である、銀行會社方面は商工銀行總會で臨分臨がたつたが今では手分けしての議論に多少ある▲總會と云ふと十分か十五分で終了と云ふ調子なので他の方面も何等問題でない▲一方臺北州會と云ふ事になると之は又臨分思ひ切つた總會で臨時會などは見中にないと云ふ調子で大騷ぎこの總會も段々騷ぎがなくなつたが、それでも未だにチヨコチヨコあるらしい何分總會の席上が喧嘩場同様で大騷ぎの騷亂、萬端の記事になると議長なしと云ふやうな總會も度々あつて係官を手古摺らしたものだ▲所が萬事の調子もうは困る総か是非も一歩を主張し州の命令で八分の殘りが打つてるが何分未熟らしい處びを行つてるからである、そこに行くと臺北信組などは大に超然たるもので銀屋君の指揮宜しきを得て萬事異議なし異議なしで無事可決▲總會と云ふと近く臺北信組が又臨時總會を開くさうな、何んと臨時總會を開いては無事に納まつて又臨分しこの會社の株主は臨時も議事に異議なしで百年も臨時、結果何等異議でないと後宥を合せ大戰期を押してるのに又何か問題を待ち込んだらしい、世の中には除酷家もあると見えるワイ▲先日來國民新聞や臺灣新聞の記者が種業視察に來て居るが今度又東京日本砂糖協會及び『砂糖經濟』の主筆山下久四郎君が視察に來臺した、內地の新聞雜誌記者で一應の砂糖通である、その面接話を聞かせて貰へば臺灣の產業地を實地に見ないのであるそれでは眞の臺灣は判らない▲山下君は日本糖業史の著者たる同業會幹事と共に臺灣で日本糖業調査所を經營したこともある經歷で熱心な糖業研究者で今度の茶繰線は多年の念願が叶いたといふものだ▲總督府特産課の土井技師などは山下君の「砂糖經濟」は中々よい砂糖經濟だ」とほめてゐる、今度は土井技師が親切に山下君に案內してゐるので臺灣の砂糖界は大いに喜んでゐる▲內地の砂糖關係は『砂糖經濟』は臺灣で大騷ぎに騷がれたが內地は案外冷靜で、八日午後チヤンと配達を見越してゐたらしい、それで株式も期米も引際に商行いた物が臺灣では內地の市況にないのか米市場などは幾分狼狽したが九日前場に至りまつて相場は元の高値に復した、大阪側大商盤で新年早々と手敷料收入がショーテ殿がつてホク〳〵ものは正米市場と米穀代行會社

土城庄で 製絲講習會

副業として指導

臺北州海山郡土城庄では農家婦女子の副業として遊から製絲を行ふこととなり倶慶局蠶業試驗所の後援を求め支に通達を乞ひ十日から五日間製絲講習會を開催する、同地方は養蠶に適した地方でもあり繭價の安い折柄製絲とすれば遙かに有利で副業として成立つ可能性が十分で郡當局でも大いに力を注ぎ講習所と共に十一名を中心とし、新設講習の四名を講師として指導に當つてゐる

商況

九日

米況

臺米相場

〇〇袋、大阪揚一、八五一袋、九四米門司揚八〇〇袋、神戸揚四、二三〇袋

[illegible]

正米市場

[illegible]

基隆在庫米（九日現在）

[illegible]

高雄在庫米（九日現在）

[illegible]

正米市況（後場）

[illegible]

株況

大阪短期

[illegible]

大阪長期

[illegible]

大阪短期

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戸期米

[illegible]

大阪在庫米

[illegible]

堂島米況前場

【大阪九日發電通】[illegible]

昨日の市況	
株式	保合
綿糸	強い
期米	上向
砂糖	保合

糖況

爪哇

[illegible]

紐育

[illegible]

倫敦

[illegible]

大阪砂糖

[illegible]

大阪定期

[illegible]

銀塊

[illegible]

絲況

大阪綿絲

[illegible]

大阪棉花

[illegible]

横濱生絲

[illegible]

穀肥

神戸豆粕

[illegible]

神戸穀肥市中相場

[illegible]

東京短期

[illegible]

東京長期

[illegible]

大增頁 二月號!! 定價五十錢（送料）

朝日

新講談 長篇 隱密七生記 吉川英治

堂々粒選りの大小說欄

長篇 仇討傀儡 菊池寬

御家人櫻 子母澤寬

捕物 右門 子持ち硯 佐々木味津三

曙の歌 加藤武雄

長篇 夕雲の果に 長田幹彥

大番頭小番頭 佐々木邦

俠盜 小判しぐれ 長谷川伸

長篇 蒼空の門 牧逸馬

盲獸 江戶川亂步

秘聞 妖魔の繪暦 大佛次郎

女優情史 夏川靜江

新春隨筆

大衆物語

（妖姬）瀧夜叉姬

直木三十五氏の大傑作長篇!!

女魔物語

山頂に輝く金鈴

英魂よ安らかなれ

出征軍人御母堂の美談

滿洲出征軍美談

異性に救はれた話

寒天下のルンペン生活探訪記

長壽者の語る健康秘訣公開

冬のスポーツ、スケートの手ほどき

御土産の爐邊物語

東亞の謎 （170）

作者　國枝史郎
畫家　伊藤順三

黄郷の巣窟（一〇）

グルサ人們は踵を返した。

——！——！

二發の[illegible]の響がした。南部と武村とが射つたのであった。

しかし何方も中らなかった。

「何、小夜子さんは私の手に……」

「お、さうか、そうして何處に？」

小夜子嬢が木陰から走り出して來た。

「先生！」

「小夜子さんか！……まア可かつた。……此方へ！一緒に！」

と小夜子の手を取つた。

三人は一散に走り出した。

武村が樹から飛び下りた。

「來い！集まれ！あれを追つかけろ！」

その叫びを聞いてあちこちからゾロ〳〵と人影が現はれ出た。

武村と一緒に追つかけた。

「とらへろ！あいつらを！……女は[illegible]！」

小夜子を連れてゐるだけに、三人の走り方はノロかった。

追ひつかれた瞬間に、

二發の銃聲！

蒙古人が二人地に倒れた。

バラ〳〵とその他が四方へ逃げた。

「パン！」

武村が狙をねらつて射つた。

弾が伯の肩を掠めた。

「伯爵、私へ小夜子さんを！……引つ抱へて走れませう、その方が速い！」

「うん、頼む！」

「さあ小夜子さん！」

南部は小夜子を小脇に抱へた。

逃げ遅れた蒙古人が集つて來た三人の後を追つかけて來る。

先頭に武村が立つてゐる。

[illegible]も伯を背後から狙つた。

と、この時行手の方から、ワーッといふ物凄い喚聲や、消魂しい銃聲や、エンヂンの音や、馬の嘶く聲が聞え、銃砲の響の音も聞え、此方へ近寄つて來る非常に大勢の、人間の姿が不意に地に湧いた、黒い蟻の群のやうに眼に見えた。

吾事[illegible]城を脱出した、次郎やダットヤボットの部下の兵や、日本人組の斯波や、さういふ者の一隊で、もしこの巣窟を包圍してゐる砂丘を、向ふへ越して眺めたならば、砂丘の外側、林の彼方に、無數の自動車や馬が居り、闘多勢の人々が、それらの周や自動車に乘つて、控へてゐるのを見たことであらう。

その一瞬か此方の三人と——伯と南部と小夜子との三人と、ドーッとばかりに喊聲をした時。

「あ、伯爵！南部さん！……小夜子さんも！……しめた〳〵僕です、次郎です、小枝次郎です！……此方へ、此方へ、此方へ、此方へ……洋子さんも居ります、メット氏も居ります！……自動車の中に！……此方へ、此方へ！」

と、群衆の中から小枝次郎が、から大聲に呼ばはつて、姿を現はして三人の方へ來た。狂人のやうに走つて來た。

「やあ次郎君か！」

「小枝君か！」

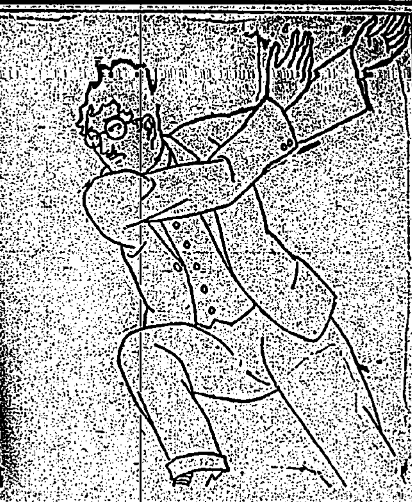
「此方へ、此方へ！」

と次郎は云つて、先頭に立つて引つ返した。

巴林の部下が大擧して、此方へ襲つて來た。

此方の一隊とぶつかつた。

銃聲！喊聲！叫喚！吶聲！怒罵！……撤退！……撤退々々！



[redacted]

滿蒙時局論
支那のために惜む（下）

東京商大教授　根岸佶

けれども日本に於けるそれら一切の

不平等條約が

撤廢せられたのは、日本自身がそれを放棄するとか、撤廢のための運動を起したからではなくて、反對によくそれらの條約を存置するところからくる列國の厚き信賴を得たがためである。明治維新以來、一貫して變らざる日本の對外方針は、岩倉、木戸三傑、大久保の優れた政治家によつて立てられた外國と絕對に事を構へるやうなことをしないといふことであつた。事を構へれば徒らに列國との對立感情を刺戟する。故に國際的孤立に陥らずにこの不平等條約から脫しなければならぬといふ方針が立てられた。だから列國は日本の一擧の

國際的信賴を

高め、却つて列國の方から不平等條約の撤廢を申入れてきたのである。しかるに支那が今日、不平等條約の撤廢に進まんとする手段方法は、全くかつての日本の行き方と反對である。そこには『反帝國主義』といふ旗を先頭に押し立てて帝國主義列國を向ふに廻し、國內事情の絕え間ない不安定から國際間の信賴を全く缺けてゐるにも拘らず、是が非でも不平等條約の廢棄、一切の治外法權の撤廢を叫んで事毎に列國と事を構へんとする。それに伴ふ外交がまた革命外交といつて、相手の國はどう思はうが構はず、一方的意見によつて過去に締結された國際間の條約を勝手に廢棄するといふのだから困る。これがロシアのやうな名實共に大國としての實力を有する國であれば、或ひは成功するかも知れないが、少くとも今日の

支那の力を以

つては一層列國の不信を買ふ以外の何物でもないことは、從來の支那がとり來つた幾多の國際的無信行爲が雄辯に物語つてゐる

四

支那は既に關稅自主權を回收し近き將來には治外法權の撤廢も考へられて着々と利權回復の機運が醸成となりつつあつたのである。我々日本人としても同文同種の誼から、いつまでも不平等國としての待遇に甘んじなければならぬことについては同情もし、一日も早く列國と對等の交際が出來るやう望んでゐる。しかるに今回の小鏡の紛擾は少くともかかる機運のめぐり來つたものを打破してしまつて、滿蒙從來の時代にまで後ずさりをしてしまつた。支那

國內の內政が

向上し、四億に行はれてゐさへすれば次に治外法權の撤廢がいつでも列國によつて承認せられるであらうことは明らかだ。しかるに何故その順序を踏まずに、却つて列國の神經を刺戟し損ずるやうなことばかりをしてきたのであらうか。全く我々の腑に落ちぬところである。支那自身も今年は治外法權の撤廢に向つて進むつもりであつたらしいが、最早その望みは全くなくなつてしまつた。國際聯盟は支那へ理事會の任命する視察員を派遣するとも傳へられてゐる。もしそれが實際とすれば支那はいよいよ窮せざるを得なくなろう。何故なら揚子江を中心とする五省は共產軍に占領されて共產自治區が現存し、そしてその勢力は日に日に擴大しつつあるからである

蔣介石は自ら

三十萬の兵を引つれてこれが討伐に向つたが、如何とも手の下しやうなき有様ではないか。また閻錫山、馮玉祥等多くの軍閥は各々の勢力を持つて一地域に立籠り隙さへあれば兵を擧げやうと覗つてゐる。中央政府の命令は完全に地方政府を動かし得ない。蔣介石政府に對する國民の信望も日に薄れつつある。かうした國內の情勢が暴露されれば、支那にとつては非常な損手となる。實際今日の支那はかつての臨城事件よりも惡化してゐる。こんな風で支那の國際管理が再び問題となるやうなことがないとも限らぬ。しかし日本は同族の國民として、かかる無辜を東洋民族の上に加へる國際管理には絕對に反對であるが、しかし情勢の推移によつてはその危險性があることは否めない。かつてパリの講和會議の時も、我が全權は[illegible]支那に好意をよせて支那が眞に

近代國家とし

て責任と安全を保證するなら、山東からず支那領土內の軍隊を撤退してやらう。治外法權も撤廢しやう日本にはその準備を持つてゐると我が全權は言つた。しかるに支那は日本の好意が分らぬのか、却つてアメリカとぐるになつて反對した。支那が日本の好意を正當に解してその頃から日本との間に誼をすすめてきてゐるのなら、今頃は治外法權の撤廢にも立派に成功してゐたはずである（終り）

新春の陽光を浴びて（臺北にて）

照南丸に便乘して（一）
バシー海峽を横斷しマニラへ

遞信部海事課員　吉開右志太

始めての外國旅行何にも知らずに臨行つて見たいといふ氣持ちに一杯支配されて出發して見たものの那かに行先きの頼りなさを思ふ時切實に恐怖を感じるのでした。先づ最初に米國比律賓である。比律賓のことは讀め知る知識もしない。で私はどうにかなるといふ樣な淡い望みを持つてゐたが段々首都マニラ市に來て見ると段々恐ろしい。途中した。實に心細い、恐ろしいどうなるのかしらどうしたらよいのかしらといふやうな情ない氣持に怖けづいて仕舞つてゐました

× ×

高雄出帆

は豫定より一日遅れ十二月二日に午前十時解纜しました當日は大變航海も穏かで此の調子だと照南丸と聴も海り難いと思ひましたが矢張り小型船は小型船丈の力しかない、其の夜になると動搖激しい、バシー海峽通過の頃であらう、大波を受けて身體は棚のやうなベッドから今にもころげ落ちさう、これでは到底安眠は思か、睡眠等とは片腹痛い、夜中遂にウツラ〳〵夢見るやうな心持の裡にも落ちてはならぬといふ意識が働いてシッカとベッドの桜を握つてゐた

朝の光が

差して來たけれども起きる氣にもならぬ、其の内に靜まらうと淡い望りを持つ。御蔭で昨夕と今朝は到々絶食して仕舞つた「船には自信がある」とほざいた自分の身がいやになり、恥かしくもなる、退過ぎから靜まつた、呂宋の島影が段く、聊く、低く、潮に烟つて見える、バシー海峽の時代も過ぎたのだ、外國領海を走つてをる昔照南丸は速力平均十浬と云はれてゐるが果してそれが實逆かどうか

呂宋は山

に恵まれぬ國にはは勿論ない程天惠がある、高い山脈は見やうとしても見えない、山の色は臺灣と異ふ、併しまだ樹木には接しない山許りである、夕刻になつて初めて山らしい高さの連峰を見た、樹木が見える、植林したものだらうが、自然林だらうか、船は明日午後マニラ港に入港豫定である、興膳技師と大熊技手の話では明晩になるらしい、航海も時化後は平調である、時折プープデッキに出て見るとイルカの群が舳先に其の異態を見せる位のものだ

× ×

便乘者の

名乘りを交換して見ると税關の宮林氏と小生とが直接關係を持たぬ者であとは官民共に海運關係者である、從つて小生は總て宮林氏と行動を共にして共同調查をする氣持になつた、税關と海運、何れも船に關係があり、海運關係の行政機關であるから此の點は確かに賢明な策だと考へた

× ×

四日の午後からマニラ灣口の燈臺マウント・バターンを左舷前方に認めた、[illegible]ってゐる、[illegible]はせる。午後六時[illegible]

マニラ灣

にかかる。航程正に五七〇浬ロッグは示してゐた。灣口に近く横たはるCorregidore要塞は既に無比の所がある中等地理にも出てゐる、それから約三時間餘、灣底に築造するマニラ港に達す。エンジンが止まつたから甲板に出て見ると右舷一杯に夜のマニラ市が點燈を輝かして居る、空まで明るいあたりがエスコルタの中心街であらう、今夜は港外に假泊し明朝早く入港するといふ話だつた、マニラ市の第一印象は眩しい光の海上と感じただけである（續く）

JFAK　十日

▲午前八時　全國氣象通報（東京）今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）臺北近郊今朝のお天氣のお知らせ（北投、草山、淡水）今日の家庭料理獻立△豚のサンドウヰッチ、鰯のサンドウヰッチ

▲自午前八時三十分至十時三十分　愛國第一號、第二號飛行機命名式及出發狀況（代々木練兵場より中繼（但し雨天又は其他の都合にて野球試合なき場合に限り中繼す）

▲午前十時五十分　運動競技（野球試合）於圓山臺灣日日新報社主催 第一試合—明大新人對臺北俱樂部（試合開始午前十一時）第二試合—明大對高商聯合試合（試合開始午後二時）但し次の時放送は運動競技の放送を中斷す

▲午前十一時五十九分　正午の時報 [illegible]

▲午後[illegible]

[illegible]（[illegible]外一名）二、お話「仁和寺」（黄氏紅）三、お話「宋騰貴」（劉紅恩）四、齊唱「青年の唄」「キャンプの唄」（余氏蓮外一名）五、お話「女子の務」（彭氏賽妹）お話「人と社會」（黄永旺）七、齊唱「山家の雨」（黄氏月珍）八、お話「國語の必要」（彭氏純妹）九、お話「趣味」（劉興祿）十、齊唱「春の唄」（楊氏宗妹外三名）十一、お話「私の家」（楊氏時妹）十二、お話「私共の町」（范氏雲妹）十三、齊唱「心」（余氏玉明外二名）十四、お話「自信の一歩」（陳達良）十五、齊唱「カナリヤ」「旅愁」（吳氏雲珍外一名）

▲午後六時　JFAK子供新聞—JFAK子供係發表

▲午後六時三十分　講演「第一回國勢調查に臨みて」臺灣國勢調査協會長大澤貞次郎

▲午後七時　（第七回在滿同胞慰問の夕べ（東京））

▲午後八時四十分　落語（臺北）「恩方齋」柳家文之助

▲午後八時五十五分　常磐津「年年に縁いや榮常盤の彩松」淨瑠璃本樹家三味線竹の家竹坊、谷口きん、上調子日本亭政香

▲午後九時二十分　時報、氣象通報、翌日ニュウス、放送局編輯ニュウス、公示通報知事項、明日のプログラム發表

萬なかだち

求職一件一回　壹圓貳拾錢
其他一回　壹圓七拾錢
臨　名　倍　額

女給數名入用　臺北市京町（新起前の上通り）電二九三七　カフエー男島

女給數名募集　たつみ　樂天地北側　電一八二六

女給數名入用　午前中お越し下さい　御成町（大正町寄り）天民　電話三、五八一番

貸住宅　小南門町一丁目一戸　[illegible]　大和町前　電四二三二　[illegible]　電二六四九

恩給立替　受給者本位低利　即金御相談　東門町二ノ一　電三三五七番　山東

恩給立替　臺北市老松町三ノ三　電三〇二三六番

電話　恩給立替　[illegible]

玉突場　[illegible]　電二八九三

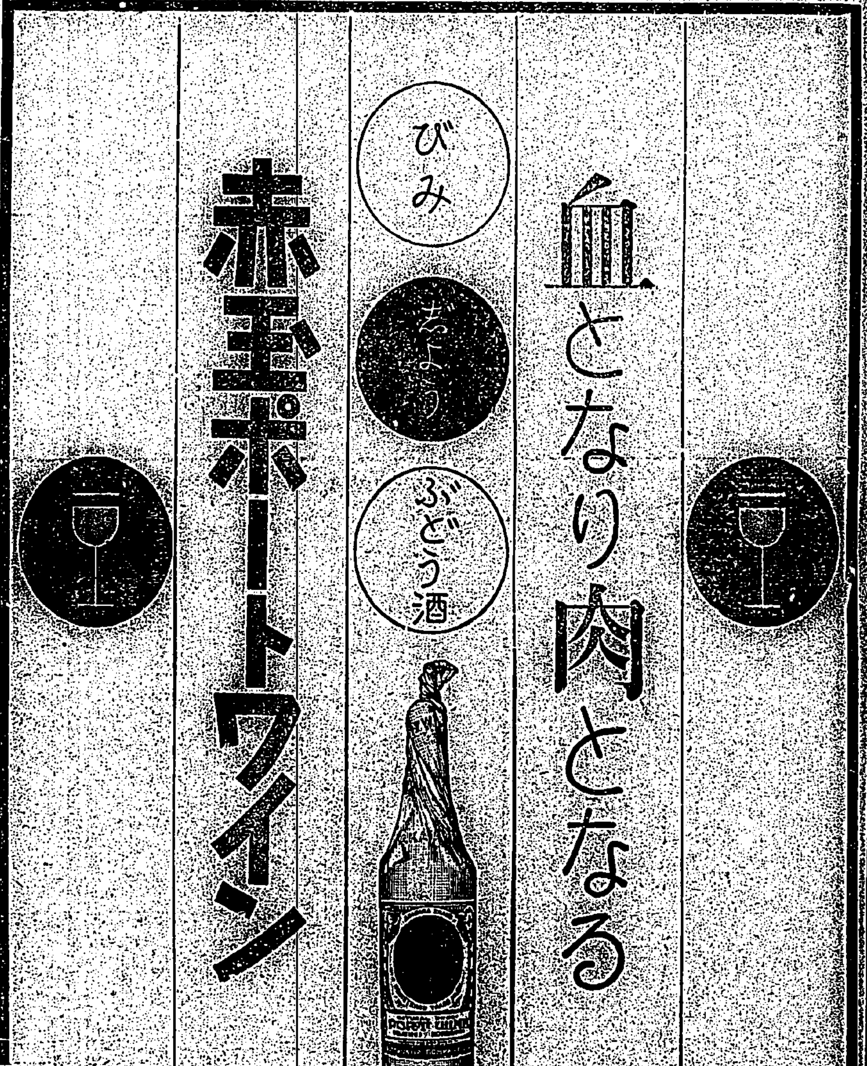
一見スグ役に立つ
願屆書式大全
▲ドンナ難しい願屆でもスラ〳〵と書ける寶典▲スラ〳〵とタヤスク書ける寶典
◇代書人いらず　本書は誰にも分るやうに[illegible]金銭土地家屋物件賣買[illegible]の正式な證文契約書はもとより役場諸官廳、警察署、裁判所、税務署、郵便局、區役所へ出す一切の諸願届其他日常百般あらゆる願届書式を網羅してあれば子供や無學な人でも代書人にたのむ必要なくスグ出くことが出來る便利重寶の一大寶典也　五百頁金文字入美本定價一圓五十錢の特價
金一圓廿錢
送料不要の引換小包で急送　書店にないから直接注文下さい
東京小石川表町六六　振替東京六八〇〇六　進文館

トテモヨク分る
珠算の彈方
▲どんなソロバン不得手な人▲にも獨習で上達の極意開放。世の中は何事も計算であるとり分け珠算の下手な人は一生の損ばかりでなく他人の前で恥をかくことがある本書は▲寄せ算▲引き算▲掛け算▲割算▲加減乗除▲比例法▲歩合算▲利息算▲求積▲[illegible]全般に渡り一々組み切な解説二百餘個を挿入し手にとつて教へると同じやうに解しあれば一讀誰にもスラ〳〵と頭に入り恐ろしく腕メキ〳〵上達の大寶典也▲三百餘頁金文字入美本　定價一圓五十錢の特價
一圓廿錢
送料不要の引換小包で急送す　書店にないから直接御注文下さい
東京小石川表町六六　振替東京六八〇〇六　進文館

履物製造大卸
各種下駄類
ゴム底草履
板底草履
[illegible]市[illegible]町
御申込次第目錄進呈
スミヤ製作所

職業
近男女自宅で出來る永久有利な仕事[illegible]
大阪市東區[illegible]町　文洋社總本店

新年お目出たう　まづ第一に
おかぜ御用心　御用心
ヘカリ印の
ヘブリン丸
かぜの薬と名が付けば、何でもよいと思ふのは大きな間違です、胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎮め、副作用なく、穏やかにねつを下げるヘカリ印のヘブリン丸こそ眞のかぜ薬であります
一千餘（三百包）より、各藥店にあり
大阪市北區
参天堂株式會社



血となり肉となる
びみ
[illegible]
ぶどう酒
赤玉ポートワイン

臺灣總督府編纂
二万分一
臺灣堡圖
總數　四百十枚
定價　一枚二十五錢
送料　四枚迄　四錢
發行所　臺灣日日新報社

●ガオガン服めば頭ハッキリ齒痛も治る●

溶け立つ泡の
こまやかさ
洗ひ流した
こころよさ
カテイ石鹸

けふ明大が最後の戰ひ
鐵團黑星を獻上か
明大全勝の榮を擔ふか
興味は正に百パーセント

十日午後二時！明大軍を迎へて二度び鋒を交ゆる鐵團！一度は臺北、一度は[illegible]に破れてゐた明大強しの名を益々高からしめるか、それとも破竹の明大軍を擊破して最後に黑星を獻上して鐵團の底力あるを思はしめるか、明か鐵かどちらも負けられない試合、正に百パーセントの興味は此の最後の一戰に賭けられることになつた、次に此の日の鐵團メンバーを推想して見やうか最後の一戰だけに鐵團も[illegible]の陣を張り、投手には[illegible]の[illegible]が第一線に立つてプレートに上るは疑ひのない所、之を補佐する[illegible]も漸く指の痛み癒えたので捕手として充分の役目を果すべく之に對してホームを死守するは元氣一杯の鈴木（英）と[illegible]なる小[illegible]とあるが打擊を主として鈴木が起用さるべく、次に鐵團の最も惱みとするは一壘手であるが[illegible]が交互に守るか或は鈴木（平）邊りを拔擢することになるのではないか、二壘の三山は動かぬ所であるが三壘と遊擊は淺尾、中村、永田三名の中から最もコンデイションのよいものを選ぶべく鐵團の敗因が常に此の邊の守備にあるので監督としても最もその選に頭を痛めることとであらう、外野は田子、内山、才木、本多、岡本と名士揃ひ、本多と才木は動かぬ所であるが或は才木よりも寧ろ外に[illegible]邊りを外野へ起用するも面白いのではないであらうか、兎に角[illegible]勝たない迄も負けたくないと、悲壯なる覺悟をなし、選手一同も此の一戰こそと頗る緊張してゐるから、定めし當日はエキサイトゲームが展開されることとであらう

試合開始の場合は
花火二發を打擧ぐ
前賣切符も通用

十日圓山球場に於て行はれる本社主催の明大豫科對臺北一中戰、明大對鐵團戰は臺北に於ける最後の正試合のことゝて都下のファンの期待する所となつてゐるが當日本社では豫定の如く試合開始の場合には例によつて花火二發を打揚げ天候不良の時は試合開始見込のつき次第花火を打揚げることになつてゐる、而して入場券は一回でも兩回通じても一圓で午前九時より會場入口にて發賣することになつてゐるが從來の招待券前賣切符は一日より四日迄となつてゐるけれどもその儘通用差支へないことになつてゐるから出來るだけ利用されたい

興味益々深き
二つの懸賞
けふの試合で運命決す

明大野球部の來征を記念すべく本社の新聞社にて試みた二つの懸賞中、『明大に對してCB鐵は勝つや否』の方は今十日の一試合にて決すべく、又第二の懸賞臺北に於ける明大との試合でホームランは何本出るかの懸賞は既に去る三日明大の布谷選手に依て一本は完全に得られたが、十日の北一中及び鐵との二試合で野球戰中最も快心とする本壘打が出るかどうか、本日の圓山球場に於ける興味は此の方からもファンの間に[illegible]れてゐる

本日の試合（午前一回 午後一回）

明大野球部一行は來る十五日發の朝日丸にて歸京の途につくが臺灣に於ける最後の正試合として今十日次の二試合を圓山球場にて試みる筈

午前十一時より
臺北一中……明大豫科チーム
午後二時より
明大野球部……鐵團

明治大學
野球の夕
十日鐵道ホテルで開催

明大校友會の臺北支部では本社の後援を得て十日午後七時鐵道ホテル餘興場に於て『明治大學野球の夕べ』を催し一般に公開する其のプログラムは次の如くであるが映畫『若人明治』は同大學出の鈴木傳明、吉田百助の合作であると

△開會之辭 支部長小宮元之助△ピンチに際して 岩崎選手△ボーク問題 二木選手△岩末老審判 天知俊一△球界を顧みて 松木選手△監督として CB團監督内田勝△挨拶 野球部長岩本勇次郎△日米野球戰 [illegible]團主將渡邊大陸△野球とは 松井久選手△選手生活 角田選手△球界雜話 審判橋戶源三郎△野球を語る 明大監督岡田源三郎△閉會之辭 校友會幹事古[illegible]貞雄△『映畫』校友會幹事[illegible]

西本願寺別院の遷佛式（九日寫す）

教化聯合會の設立
各街庄で大歡迎

【臺北】淡水郡では去る七日、新莊郡では同八日各郡下街庄長、助役、小公學校長及び男女靑年團長ら三千餘名を招集し過般發布された州訓令に基き郡街庄教化聯合會及び郡男女聯合靑年團組織に關し共に午後一時から郡役所で打合會を開催し各郡守の挨拶に次で那須州教育課長の訓令の趣旨に關する說明あり、引續きこれが實施の具體方法については樋尾社會教育係長から說明あり熱心に質疑應答討議の結果新莊郡では來る二月十一日の佳節を卜し郡教化聯合會及郡男女聯合靑年團の發會及發團式を擧行すべく直ちにこれが準備に著手することに打合せを了し淡水郡でも近く發會及發團の運びとなつた、又文山郡では九日午後一時から同郡の打合會開かれ那須課長、樋尾係長臨席した、今や時局は國民總動員の下に國民精神の作興を圖るの秋に際し今回の訓令發布は極めて時宜に適せるものとして關係各方面に大に歡迎せられ各地協力して之が發會又は發團を急いで居りこれが州當局でも豫期以上の反響あることを喜んでゐる

明大新人チーム
全臺中に大勝す
二三A對三のスコアで

【臺中電話】明大新人對全臺中野球戰を迎へたスポーツの都市臺中は晴天續きだ、九日午後零時十四分臺中驛へ着いた明大新人軍は旅館千代乃家に入つて旅裝をとき、直に水源地球場に向ひ、岡田監督を先頭に入場し輕い練習を終へる球場は明大軍を迎へるファンによつて埋まつてゐる、坂本スポーツ後援會長の始球式の後午後一時半天知球審のプレーボールは宣せられた、壘審は澤、大澤の兩氏、先攻全臺中軍、明大は中村、田口の兩投手で悠々對戰、二木、月來をベンチに控へて二十三A對三のスコアーにて大勝す試合は午後三時十五分試合時間一時間四十五分

試合經過

一回（中）上杉一壘上を拔く三壘打を放ち、森下の三飛に本壘を衝いたが憤死す、百宮三振、津田右飛（明）山根遊直球、森松遊擊ゴロは内野安打となり三盜、鈴木四球、沼畑四球に送られて滿壘となる、山脇の三飛に森松本壘に封殺されたが、捕手逸球に鈴木生還、中村の遊擊右を拔く安打に沼畑山脇一擧ホームイン木原四球に出で捕手逸球に走者二三進三浦四球に二死滿壘となる久保田の一壘右を拔く三壘打に走者を一掃し久保田も三壘に進んだ中根左飛明大六點を先取す

二回（中）日永左中間三壘打を放ち伊藤四球に續き池田の投前野手選擇となつて滿壘となる井上の遊飛に伊藤二壘に併殺を喫し池田二壘に刺されて盜し（明）森松遊擊安打に出て二盜（臺中西村、中堅に入り伊藤退く）鈴木四球に續いたが沼畑の投前に森松三壘に封殺され、山脇の二飛に沼畑二壘に併殺を喫す

三回（中）大町左飛上杉二飛森下三邪飛（明）中村四球に出て、木原の三壘に放つた猛直球は左翼側深く轉々とする間に中村一擧ホームイン、三浦四球に出で木原三浦のダブルスチール成る、久保田の二壘ゴロを壘手後逸し木原三浦生還、中根のセーフチーバンドに久保田一擧三壘を稼ぎ、投手暴投に久保田生還、中根二壘に進み森松の三壘側セーフチーバンドに中根三壘に送られ森松二盜鈴木の中飛に中根生還、森松三盜に刺さる明大五點を更に加ふ

四回（中）百宮左越三壘打を放ち津田の三壘右安打に生還日永の遊飛に津田封殺され、西村投飛に二死となつたが、池田左越三壘打を放つて日永生還、井上の遊飛一失に池田生還、大町[illegible]飛、臺中三點を奪ふ（明）山脇三振、中村左飛、木原中飛失に[illegible]二壘を衝いたが中堅よりの送球に刺さる

五回（中）上杉三飛森下三壘强襲安打に出で、百宮の左飛を左翼手落球し津田の一二間安打に森下一擧本壘を衝いたが右翼よりの本壘好投に三本間に挾殺さる、日永二飛（明）三浦四球に出でしも久保田の二飛に封殺さる、中根の三壘内野安打に走者一二壘により、森松の一飛に二三進、鈴木四球に二死滿壘の時沼畑中堅左に三壘打を放ち走者を一掃す、山脇の二飛落球に沼畑一擧生還、中村三飛側大四點を加へて十五點を算す

六回（中）西村三飛、池田三振、井上三飛（明）木原三壘側セーフチーバンドに出て二盜三浦三振、木原三盜し、投手暴投に生還、久保田四球に出て、中根中飛落球に生き森松三振したが久保田、中根のダブルスチール成る、鈴木投飛、明大更に一點を加ふ

七回（中）大町三振、上杉投飛、森下遊擊内野安打に出てしが百宮捕邪飛（明）沼畑左中間帽にダイレクトで打つける三壘打を放ち、山脇の左飛に生還P・H田口一飛失に生き二盜の時捕手二壘惡投に三壘を稼いだが木原の送球を三壘手後逸して一擧生還、木原四球、三浦四球に出でたが久保田三振中根三振

八回（中）（田口投手となる）津田一二間を拔いたが日永三振、P・H西木の投前に津田封殺さる、池田の遊飛は西村を封殺（西本中堅に入る）（明）森松三振、鈴木右前安打を放ち二盜し、沼畑四球に出て山脇中飛に二死となつたが田口の左越二壘打に鈴木、沼畑生還、木原左翼前の本壘打を放つて田口と共に悠々ホームイン、三浦又も右翼線深く柵に達する本壘打を放ち久保田一飛、明大五點を加へて得點二十三點となる

九回（中）井上三振、大町三[illegible]、上杉二飛

明大
8 中根
7 森松
5 鈴木
3 沼畑
2 山脇
1 中村
1 田口
9 木原
4 三浦
6 久保田

臺中
3 上杉
5 森下
7 百宮
1 津田
4 日永
8 西村
8 伊藤
8 西本
6 池田
9 井上
2 大町

	打數	安打	犧打	三振	四球	失策	盜壘
明大	41	15	12	7	13	3	7
臺中	36	9	2	6	1	6	7

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
明治	6	0	5	0	4	1	2	5	A	
臺中（先）	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3—23A

總督は政變外に超越し
恒久性をもつべし
臺北州協議會員代表が
九日木下長官に陳情

昨年十二月開催の臺北州協議會に於て臺灣總督が政變毎に更迭するは統治上頗る遺憾であるから總督は政變の外に超越し恒久性をもつべしとの決議をなし之が實行委員として[illegible]治郎、中辻喜次郎、小宮元之助、[illegible]の五氏が選ばれ右五氏は十二月二十一日太田總督を訪問しこの決議に基き縷々陳情する所あつたが九日午前十一時半右の實行委員四氏（許氏は不在の爲め缺く）は木下長官を總督府に訪問、公室に於て會見し總督に陳情せると同樣の主旨に依り政變の度に臺灣總督が更迭し同時に首腦が更迭するといふことは統治の上に宜しからざる影響を及ぼし諸事務は停頓し島民の累を受けて困る所とする所であるか、島民一同のこの希望を諒知されたい との希望を開陳する所あつたが之に對して木下長官は諸君が自分の爲めに留任の運動されるのであれば甚だ迷惑である と述べたが更に實行委員は木下氏個人の爲めの留任運動ではない、臺灣總督延いては長官に對する恒久性をもたせ度き我の希望である との意味を明らかにして會談時餘にして辭去した

小作爭議團
生産黨員と衝突
死者六名を出す
重輕傷者は十數名

【宇都宮九日發電通】九日午前六時頃栃木縣阿久津村小作爭議に就き大日本生産黨員が地主側の應援に赴つてゐると約八十名の小作人爭議團が竹槍、日本刀及び鐵砲等を携へ衝突し生産黨側死者六名重輕傷十數名を出した

山海關からの
避難邦人歸還

【天津九日發電通】山海關より避難して來てゐた邦人は九日一齊に歸還した

兎狩りそつくり
匪賊討伐風景（上）
電信柱の影に怪しい二支那人
新民にて聯合特派員

『十八日早朝約五十名の馬賊新民の北約一里の民家屯に侵入し盛んに物資掠奪中なほ[illegible]を[illegible]つて新民を窺かんとす』との情報を得た新民駐屯の[illegible]大隊長は、加藤中隊をして西暦十九日拂曉を期し機先を制して馬賊討伐を命じた、在新民の記者連も恐いもの見たさに出動軍と共に行動する事を許された、加藤中隊の士氣大いに揚り、夜も眠られない程の興奮だ、僕等も午前二時半起床、宿舍を後に支那の猛犬に吠えつかれながら隊の集合地點に向つた。

◇

加藤第〇中隊は驛前の支那街[illegible]に分宿してゐる。室内は事務室以外は暗いランプが二つ三つ點つてゐるだけで、この暗闇の中に銃劍のカチ合ふ音や靴音、兵の往來のざわめきが無言の裡に戰ひの前の殺壯の氣を漂はせてゐる。加藤中隊長の計らひで[illegible]連中と共に朝飯にありつく、わかめ汁の馳走になつた。午前二時頃アルミの大きい椀に麥飯を山とつまれては一寸手が出なかつた。敵襲如何によつては何時飯にありつけるか分らないのでお茶をかけて流し込んだ、記者の生命については誰も保障する事が出來ないと云つて、隊長は兵隊並に[illegible]を供してくれた、毛皮の外套に長靴の扮裝、鐵兜は一寸似合つたスタイルだ

◇

かくて午前四時驛構内の廣場で僅かに物を見別け得る暗がりで中隊（重機關銃、曲射砲、步兵砲を含む）約百五十名は整列、中隊長より馬賊討伐に出動する命令を受けた。午前四時三十分步兵の先頭を以て中隊は營前を出發、隊伍整々敵地に向つた。僕等は中隊長と共に本隊の先頭にあつて前進した

◇

行進を起して間もなく驛の東側に到着した時、突如ピストルらしい銃聲二發が支那民家の塀の手にあたつて而も間近に聞えた戰ひに馴れた兵士は少しも驚かないが、僕等には何かの合圖ではないかと思はれて薄氣味惡いこれつきりもとの靜寂に歸つた

◇

やがて線路を越えて民家屯の部落に行く小道にかかつたとき、數名の兵士は『コラツ』と云つて暗に突入したかと思つたら、二人の支那人の男をとらへて來た。二人は電柱の影にかくれて兵の通過を待つてゐたらしい。怪しい敵の間諜だと云つて通譯を介して中隊長が取調べた。二人とも三十位の年配の男だ。この寒空に何一つの防寒具もなく手袋もしてゐないのでワナワナふるへてゐる

◇

民家屯に馬賊が居るかと訊ねたが、その返答の言葉もしどろもどろに『私等は民家屯の百姓で新民へ使ひに行く途中だ、決して怪しい者ではない』と弁解した。此の夜更けに新民へ行つても用事をたす事は出來ない筈だといふので、通譯は右手を以て頰つぺたをなぐりつけた。一人の奴の頰からは、血がにじみ出た

◇

ほんとに百姓であるのか、大膽不敵の馬賊の[illegible]兵か一言も馬賊に關する要點にふれた答辯を與へないので、若い軍曹は『やつつけませうか』と三尺の秋水を握りしめて今にも袈裟がけに切り下げんばかりの氣勢を示したが『やるのに何時でもやれるから今日はこいつに案内させやう』と直ちに捕繩を以て縛し二人を先頭にして又前進した。ここで約二十分ばかり手間取つた。さつきの銃聲とこの二人の支那人とを合せて考へるとどうも敵が居るらしく思はれた

全國勞働大衆黨と
社民が合同を畫策
十九、二十日の大會で提唱

【大阪八日發大每特電】昭和六年度の我國無産政黨運動は全國勞農大衆黨から分裂した日本勞働黨組合聯合が新黨樹立の目的をもつて猛運動を開始し[illegible]が、明けて昭和七年の我國の無産政黨運動は滿洲問題に

戟刺され

殊に評議解散ありとの意氣込みで新なる運動が起らんとしてゐる、その運動の中心は社會民衆黨であるが同黨に於ては二十九日中央執行委員會において反ファシズム、反共産黨主義、反資本主義の指導精神をもつて新なる無産政黨樹立を目標とし全國勞働大衆黨と合同運動を起す事になり、その特別委員に片山哲代議士、赤松克麿、松岡駒吉、西尾末廣、川村安太郎、米窪滿亮、島中雄三の七氏をあげ、來る十九、二十の兩日東京で開かれる昭和七年度同黨大會で華々しく合同運動に踏出す事になつてゐる、社民黨がこの運動に積極的に進むに至つたのは目下の形勢では無産黨の四分五裂は無産階級自身にとつて重大な

打擊で

あると同時に大衆黨内には勞働倶樂部問題、松谷代議士問題が起つてをり、内部的には社民黨に好意を寄せるものもあり陣容を新にして更正合同を提唱すれば完全とは言へないまでも相當な成績を收め得るとの自信を持つに至つたからである、又合同については大阪側は全國勞働組合同盟、勞總同盟、勞總聯合等の將來から[illegible]の紛糾があり、合同については前途迂餘曲折が豫想されるが東京側はその間多少のゆとりもあるので社民黨幹部間では非常な乘氣で積極的に乘出す事になつてゐる、殊に社民は勞働倶樂部を動かし合同運動に助力してゐるから新發足も久しからぬ模樣である

英は飽くまで
門戶開放主義
近く英當局協議

【ロンドン八日發聯合】イギリス外相サイモン氏は、アメリカの對日通牒に關し未だ正式の通告に接しないが之に對するイギリスの態度に關し重大な考慮を拂つてゐるイギリスに對する通牒が日支兩國への通牒と必ずしも同文でないかも知れぬが近くイギリス當局は今明日中に之に關し協議することとならう尚イギリスとしては飽くまで支那に於ける門戶開放主義を固守する筈である

通牒に關す
米の期待

【ワシントン八日發聯合】米政府が昨日日本軍錦州占領によつて醸された南滿洲の情勢の合法性を認める事が出來ない旨日支兩國に通牒した事實に關聯し、今後米國が如何なる行動に出るかは不明なるも、更に南滿洲における日本の進出に關する國際的權益が本日に至つて著しく緊張して來た事を看取される、スチムソン氏が英佛伊其他九國條約調印國大使と技術的聯絡を行つた事から見てこれと諸國政府も滿洲における一切の權利を保留すると同樣行動に出るものと米國側は見てゐる、而して米政府としては今回の通牒で將來日本がその南滿洲の地位につき支那に新なる要求をなす場合に抵抗を强める上にも恐らく役立つものと期待してゐる

大相撲初日
無期延期とならう
紛擾容易に收らず

【東京九日發電通】[illegible]の西方力士團は相撲協會に對し弁護士計理士を派遣し協會の帳簿檢査をなすべしと協會に要求したが九日協會は之を拒絕した、[illegible]東方力士も改革運動には合流せざる事[illegible]場所興行には應ぜぬと聲明したため協會は十四日の初日を無期延期の決意をなした

協會の財産調
をやらせよ

【東京九日發電通】春秋園に立籠つた西方力士團は相撲協會の[illegible]整理と資產狀態に付き調査の必要ありとし弁護士と計理士を派遣して力士會の上協會の財產調査を行ひたき旨武藏山から電話で入間川に申入れたが協會は九日回答することとした

西方力士
辭表を送付

【東京九日發電通】一相撲協會の態度に憤慨した西方力士は九日午後天龍以下三十二名辭表屆を協會側に送付した

本島人の
藝術を研究
有島生馬氏が來臺
瑞穗丸ニユース

【基隆電話】九日午後一時半基隆入港の商船瑞穗丸で有島生馬氏が來臺したが愛弟子陳清汾氏及び小澤[illegible]伯が本船迄出迎へ[illegible]な挨拶を交はしてゐた、氏は語る

陳君のお父さん、陳天來氏の還曆の祝ひがあるので陳君に娘の結婚式に參列して戴いたお禮旁々あがつた譯です。之を機に

陳君は 個人展を開くさうですから、その方も見ませう

來臺の第一の目的は本島人を通じて本島人の藝術生活その他を知るにあります、今迄內地からやつて來る人々は內地人を通じて本島人の總てを知らうとしてゐますが、私はそれは間違つてゐると信じてゐます。本島人を知るにはどうしても本島人を通じなければ分るものではありません、併し私は今迄本島の

藝術を 研究してゐた譯ではありません。[illegible]一ヶ月本島で陳君の外に石川欽一郎氏等も知つてゐます、私は今迄支那に興味を持つてゐた文人、美術家を多數知つてゐます

同船では取締役[illegible]地佐吉氏が來臺した

米國へも
滿洲情況を放送
JOAKで中繼

【東京九日發電通】嘗てアメリカのエル・ビー・シー放送局から滿洲の情況を放送するやう依賴があつたので東京放送局では奉天無電臺と關東軍とに交涉の結果愈日中に奉天無電臺よりの放送を中繼してアメリカ全國に放送することとなつた

臺北軟式野球
第二次戰

年末年始內地より招聘チームとの試合に依り一時中斷されたる同協會試合中第二次戰未了の分[illegible]試合は十日午前九時より[illegible]小學校に於て擧行せらるることとなつた

太平町通りの
鋪裝に付陳情

[illegible]に發會式を擧げた臺北市太平町會「太平會」は太平町大通の鋪裝につき市役所に陳情すべく[illegible]を起草中であつたが大要左記の如き陳情書を脫稿したので八日午後會長[illegible]氏がこれを市役所に持參し內海市尹に陳情した

△陳情書

抑も太平町本街道路は我が島都臺北市繁華の中樞にして全島經濟界の中心として殷賑を極め居れり昨年太平町本街道路にアスファルトにて完備せる道路改修を企てられたるが太平町本街道路中一、二、三丁目まで改修完成せられたるのみにて爾後同町四丁目より六丁目に通ずる本街道路及臺北驛に通ずる道路は未だに着手せられずして依然舊態の儘なるは甚だ遺憾とする所早く道路改修に着手完成せられん事を切望して止みません

竹東郡靑年團
の結團式

【新竹電話】新竹州竹東郡下各街庄[illegible]の結團式は十一日午前十時から竹東公學校にて擧行さるべく州から[illegible]知事、[illegible]田教育課長等臨席すると

六萬圓橫領の
事務員出所

元臺灣新聞社の臺北印刷所事務員として六萬圓を橫領した臺北市老松町一の一〇海老原[illegible]は去る十二月二十八日滿期出獄となり臺北刑務所を出所した

女子高等學院
學友會發會式

臺北女子高等學院學友會發會式は九日午前[illegible]から同院[illegible]にて開催された參列者は杉本院長、安藤、植松、[illegible]、伊[illegible]、中村、石川、井手、[illegible]の講師、[illegible]の外學生[illegible]で先づ君が代合唱後[illegible]として式辭を述べ、杉本院長以下[illegible]名の來賓が夫々祝辭を述べ、[illegible]代表して祝辭を述べて式を終り三時半より[illegible]に移り[illegible]

社會事業講習

【臺北】總督府主催の下に十一日（月）より十七日迄總督府會議室で臺北に於ける第五回社會事業講習會が開かれる、開會當日は木下長官の臨席がある筈であるが講習者は市中社會事業[illegible]部長[illegible]一氏の外十三氏に達し講習科目は[illegible]氏の『福利事業、社會事業の經營』の外社會事業に於ける重要なる事項を網羅する

特別廣告

水月の優待
御客樣に御馳走

本店喫茶部では十二日より十五日迄五日間に亘り此の廣告を切り拔いて御持參の方に對し御一人樣御一枚一回に限りお汁粉を御馳走致しますから何卒御來店の程偏に御願ひ致します

臺北市榮町
水月喫茶部

漢文臺灣日日新報

首相捧呈三大臣辭表後
參內拜謁拜受優詔

九日東京電。犬養首相。九日午前九時十分參內。同十時九分。由宮中退下。即於大宮御所。求謁皇太后陛下。叩安。同十五分退下。十時二十分入首相官邸。首相於宮中曾見牧野內府。鈴木侍從長。一木宮相。參進御前拜謁。捧呈中橋。山本。前田三大臣辭表。一旦退下後。再拜謁。拜受優詔而退。

不敢上惱宸襟
結局留任燮理國務
陸相亦翻初志留任
國務多端之際。可留任處理國務

九日東京至急報。賜犬養首相留任優詔。乃政府以國家多事。時局重大時。不敢再惱宸襟。結局留任以當國務。又荒木陸相雖辭意强固。因先留同僚勸說留任。遂翻其初志。似將留任也。

緊急閣議
森官長訪高橋藏相

九日東京至急報。緊急閣議。九日午前十一時二十五分開會。除高橋藏相外。全閣僚參集。犬養首相。報告捧呈閣員辭表。蒙賜優詔。協議今後對策。森書記官長。午後零時四十分。訪赤坂表町自邸高橋藏相。報道閣議意向。且求藏相意見。

中橋內相進退
似欲保留至他日

九日東京通至急報。中橋內相。決定一旦留任。其進退似將保留至他日也云。

罰警衛責任者
總監以下三名免官
內務次官等三名罰俸

九日東京電。不敬事件警衛上責任。河原田內務次官。森岡警保局長。長警視總監。大竹警務部長。村地官房主事。浦川丸之內。田村麴町。兩警察署長等。皆提出辭表。其責任處分。俟事件內容審查後。乃附文官懲戒委員會決定之。長警視總監。大竹。浦川。田村三氏懲戒免官。河原田內務次官。森岡警保局長。村地主事等罰俸處分。又犯人原籍地關係朝鮮知事。亦難免處罰也云。

前田山本兩相歸京
即向官長提出辭表

九日東京電。前田、山本兩相。九日午前六時十五分。東京驛着歸京。即會見森書記官長。提出辭表。

政府閣議後公表
留任至決定情形

九日東京至急電。政府緊急閣議後。發表如左。本日午前九時半。犬養首相。將中橋、前田、山本三大臣辭表。一括捧呈睿覽。更代表閣僚恭對皇后陛下陳謝且恭問慈安。退出之際。鈴木侍從長謂爲稍待。未幾陛下召見拜謁。則以時局重大之際。宜再任之優詔。犬養首相。伏奏對此次事件不加罪。今復拜賜聖旨。不勝感激。請容歸邸後。與各閣僚協議奉答。由是退出。首相即在官邸開臨時閣議協議。中途使森書記官長。聽取高橋藏相意見。閣議終了。首相于午後一時半。如豫定親補式侍立後。伺候宮中便宜。決將本日閣議結果奉答。

中國對美回答起草
全責任在日本

八日南京電。中央執行委員會。八日開緊急會議。協議美國所行動開始之事。結局欲使外交部。對美國提議。起草回答。陳友仁氏。迄不說明回答起草內容。其趣旨乃感謝美國提議。錦州問題滿洲紛爭行爲之責。全部使日本負擔。

華求適用制裁規定
聯盟緘口不言

八日本府電通。中國決以聯盟規約十六條之制裁規程適用。要求聯盟之南京報道。聯盟則此尚未有正式報道。聯盟各方面。亦鑑于事態重大性。緘口不談意見。

聖躬安泰
意國奉祝

八日羅馬電。本日意大利報紙。報道日本天皇陛下鹵簿。被鮮人逆徒投下爆彈。大不敬事件。謹對天皇陛下御安然恭表滿腔祝意。

美國通牒聯盟歡迎
以美此舉爲適宜

八日壽府電。國際聯盟。以美國引用九國條約。關滿洲情勢。通牒日華兩國。非常歡迎。其理由如左。一、聯盟非自認國際紛爭爲平和的解決之唯一機關。乃希望蹤求所有外部的手段。二、聯盟于至二十五日開理事會。或于中國調查委員。至到滿洲時不出具體的行動之際。而美出此舉。乃適事宜。三、滿洲問題至解決。聯盟要以不斷對日本加壓力。美國之行動。視爲緩紛的壓迫。

鈴木法相
勸陸相留任

九日東京至急報。鈴木法相。九日午前十時。遣陸相官邸訪荒木陸相。密議約三十分。右乃優詔降下時。懇請陸相留任者。又在鄉將官其他。朝來訪陸相。勸告同樣留任。

株況强硬
大命再降下

九日東京發電通。政局動搖懸念。前日後場大波瀾。因內閣總辭職結果。大命再降下。大引早已反撥。今朝受外電貨判報。且呈過買反動。諸株一齊昂騰。紡績株鍾紡起四圓十錢。新起二圓六十錢。日清紡東洋紡起六七圓。砂糖株强調。瀨糖起一圓九十錢

法國言明
不從美勸告

八日巴里電。美國政府對日本勸告。法國政府言明不從。

上旬入超
六百七十萬圓
金再禁多輸入

九日東京電。大藏省主稅局調查一月上旬貿易。六百七十萬餘圓大入超。此乃爲勝米料金輸出再禁止之先物輸入契約授受。及金輸出禁止以來。料爲替暴落之輸入旺盛也。（單位千圓）

輸出	七、六二九
輸入	一四、三三七
對除入超	六、七〇八

首相發表聲明
關全閣員留任理由

九日東京至急電。全閣員留任理由。犬養首相。于閣下奉答後。發出聲明。

警視總監後任者
大海田邊兩氏有力

九日東京電。警視總監後任者。以大海原重義氏或田邊治通氏最有力。

鈴木侍從長
奏上園公奉答內容

九日東京電。九日午前二時十四分。鈴木侍從長。發靜岡驛歸京。午前六時三十五分。抵東京驛。先用朝食。入其自邸。午前八時半出仕。於內大臣室。與牧野內大臣協議後。侍從長於午前九時。拜謁天皇陛下。將御下問之西園寺公奉答內容。委曲奏上。

全閣員留任仰答聖旨
犬養首相拜謁退出

九日東京至急報。犬養首相。九日午後一時二十五分參內。一時三十分。侍立陸軍親補式。式於同四十五分終了。首相其後更拜謁。奉答以感激優詔。鑑于時局重大之秋。全閣員留任。仰答聖旨。一時五十分退下。

湯地司令官
視察福州

現在福州。有從泊軍艦北上。驅逐艦竹、[illegible]外二十七驅逐隊之三隻。以任警備。福州中國良民皆以此次之事件。爲無謀之行動。深恐被日本軍攻擊。早有開始避難者。一同俱惶不安。又湯地司令官之福州視察。于此際一般殊爲注目。

武利安外相
辭表提出
首相挽留之

八日巴里電。法外相武利安氏病氣。本日對首相提出辭表。首相因內閣危機。不肯受理。懇請留任。武利安氏遂約再考。如武利安外相堅欲辭任。則法內閣欲斷行總辭職。然其實現。只在時日問題而已。

公安局長等
到我領事館
陳謝

據馬公接對岸電報。福州省政府。去七日午前。派陳培焜。林知淵。公安局長李國長諸氏到我總領事館。就今回事件。表陳謝之意云。

阿部新軍司令官
參列親補式東上
按二十五日乘船赴任

九日大阪本社特電。發轉爲臺灣軍司令官之阿部第四師團長。欲列九日親補式。去八日下午九時二十五分。搭大阪發列車東上赴任期。豫定搭二十五日神戶出帆之蓬萊丸來臺云。

中國新聞
報道不實
以水戶爲自殺

據馬公要港部接到情報。南華各地居民。依藉中國新聞。而知此次滿洲事件因而此等中國人。甚遠于事實之眞相。妄信爲事實故對素不悅之反日會行動亦姑爲忍從。迨于最近有自滿洲方面知友等來信。言及自日本軍占領後。免于苛斂誅求壓迫。且得生活于理想的治安。爲是南華一帶。對反日會反感殊甚。以是足知中國新聞對該事件如何曲報也。現如對福州水戶訓導夫婦慘殺事件。南京五日發中國新聞。謂據福州電報。以日本人水戶訓導夫婦爲自殺。而日本之一涉。以爲中國暴徒之行爲。藉口實進兵云々。

東石郡產組
總會日程

東石郡下建築、信用、購買組合。凡十處。此回由當局指定期日。開通常總會各組合開會期日列左。九日朴子建築信購。十日太保信購。二十六日朴子信組。十七日發竹信販。二十二日[illegible]港墘信購。同二十二日布袋信購。二十四日東石港信組。牛稠信組。三十一日[illegible]信購。

斗六郡警察
武道演習

斗六郡警察課員。去八日起。至同月二十八日止。計二十一日間。每朝五時半起。至六時半止。凡一時間。在武德殿。開武道演習會。七日午前八時。舉發會式。

新營郡警官
寒天武術稽古

臺南州新營郡警察課。依定例。爲昭和七年。寒天武術稽古。自月之八日起十五日間。每早六時起。約一時間。召集該課員。及附近各派出所員。於郡役所構內演武場。開柔劍道個人比試。

受託特許權手續
詐欺四千餘圓巨金
被發見晦其踪跡

臺中市若松町人林慶和。自數年前。掛起臺灣發明協會招牌。受新發明者依賴。向特許局手續特許權發受大甲街某富豪之子賴某所託。向日本、英、美、德、法等。特許自動音樂器付煙草入飛行車其他。被取去手數料四千圓。于茲四年。其後賴某向問否會向特許局手續。提出詐欺告訴于臺中署。林聞風先逃遁。不知去向。現搜查中。

巡迴文庫
到羅東

督府圖書館第八號巡迴文庫。最近至羅東圖書館。自去六日。開始携出閱覽書籍有五十七冊。携出閱覽七日間。每一人限二冊。開閱一般多數往觀之也。

池魚凍死
青草湖南隘
登市配售者多

新竹郡香山庄青草湖。及南隘一帶之養池魚。所飼養鰱魚。爲逢連日降霜。自六日來。頻々凍死。浮于水面。日數百斤。於是山養魚家。運至市上配售者。一時堆積不鮮。

竹市婦人交禮

臺灣愛婦竹州幹部。及竹市在住各貴婦人等。去八日上午十時。假新竹公會堂。開新春交禮會。是日來賓有豬股知事列席。定刻知事夫人。對一同敍禮。次竹州幹部員輪流講話。過午三十分式畢。次自下午一時半起至二時半。開新春娛樂。併舉跳舞歌劇等。終由豬股知事講話。然後散會。

時評

○我皇室與國民。義則君臣。情同父子。國民咸崇愛戴。永遠弗渝。而厚澤深仁。尤常感激。乃都中突發觀兵附近。突起不祥事件。全國民聞之。惶恐不知所措焉斯時也。大赦不赦。匪徒無恙。四隣無事。犯人即擒。猶不幸之幸矣。○犬養首相。以下閣臣。惶恐辭職。九重遣使。詢問元老。乃以國家多事。優詔慰留。閣議結果。決定奉詔。國步艱難。上下從權。良非得已也。○野黨之意。以爲內閣進退。應絕對的。優詔繼留。不宜奉命。萬一留任。亦以臣節有虧。礼問責任。所處不同。見解有異。豈謂不易之論哉。○方其總辭職也。期米及特殊株價。一落千丈。比見留任之勢也。一時直昂。至所謂有頂天。要之。米界於是。以安以定矣。○英國對華問題。決心門戶開放主義。其他列强。一大抵賴此。入或以美國新金山。新呂宋閉關之例難之。則有何辭以服人乎。○木島現行地方制度。大正九年改正來者。昨今七星郡平溪庄。改歸基隆郡。海山郡蕃地。編入三峽庄。他當合併改名。全島尙多。皆宜考慮所行之。○島婦生活所當改善。文化所當向上。婦人每日新聞。決定宣講鼓吹。確爲良圖。此後地方官。其他團體。苟無以繼之。一曝十寒。後效何可期耶。○高雄州下。近年來。自殺者衆。而謀生艱苦特多於表情者。其其現象。其餘州廳內。當亦不少。惜之仰更開以生財大道。[illegible]此無從否。

漁夫二名
被浪捲去
一被救一失踪

基隆市入船町濱口富之助年四十六。所有發動機漁船。第二天神丸。三十五馬力。乘組員船長外八名出漁中。去七日午前十一時頃。離彭佳嶼三十五浬撈漁中。水夫友知樽一年二十七及同福本豐。年三十七兩名。被激浪捲去。福本負傷。幸潤至船邊。被同僚救助。友知。遂踪跡不明。去八日午後五時該船歸港。即將情報于當局云。

新年宴會
時間六時勵行
臺北市西區

臺北市西區官民新年宴會訂本十日下午正六時。開於艋舺龍山寺內。會費二圓。聞平山知事。確定出席。宴半。即欲他往。時間希望勵行。

運轉砂糖
專用車
每日十萬擔

鐵道部。際砂糖輸送期。發揮大能力。運轉砂糖專用列車。臺南嘉義間十四回。嘉義彰化間十一回。抵高雄驛。每日有十萬擔內外。去七日。在庫糖有二十四五萬擔云。

測候所長宅
塵芥箱發火

臺北市佐久間町。寺本測候所長之家。去八日夜十時四十五分。自塵芥箱發火。燒失板壁若干。遂被撲滅。南署接報。有山刑事部補赴現場查證。判明同日下午七時頃。同家燒門松殘灰。棄于塵芥箱。灰中殘火再燃云。

臺北州三郡
變更區域

臺北州。[illegible]一日起。施行州下三郡區域之變更。即七星郡平溪庄。編入于基隆郡。海山郡管轄區域之五寮。插角。東眼三蕃社編入三峽庄。去九日以府令第一號。改正大正九年府令第四十七號也。

羅東逃犯
在臺北日新町
被北署拘去

羅東郡役所。客年十一月。有留置中之犯盜。即羅東街北成八十四番地。江阿宗。年二十五。同月二十日午前六時頃。乘警察官之隙。逃出同課留置場。一時不知去向。其後繼續向各方面搜查中。是近聞似有逃出臺北方面消息。去四日午後八時。阿宗。在日新町某處飲酒中。被北署警察署三河及羅東陳刑事探知。拘入該署云。

臺車墜橋下
押者斃命

新竹市東勢人林煙。年三十八。現爲拓殖軌道會社之臺便推車夫。去四日下午三時半。由竹東。向新竹。押進中。下午六時。抵赤土崎牛路時。因前面橋上。有阻碍物放置。臺車閃避不能。連人一齊墜落於高約一丈橋下。身撲巨石。起腦振盪。經數時間後斃命。

賭麻雀罰金

住高雄市鹽埕町三丁目六番地之浙江省永嘉郡西北鄉人。木工黃福榮。年三十六。外四名一派。去八日午前一時頃。在鹽埕町一〇番地張某處。聚賭麻雀。被高雄署防犯係中津井黃二刑事偵知。到現場一網捕住。送交司法主任。即決各處罰金二十四圓結案。

羅東
視察道路

爲開發羅東。蘇澳二郡下蕃地。自羅東與三星間。開始自動車以來。一般深感該道路狹隘。故自客年十二月以來。以三星。冬山及羅東三街庄民。凡五千餘人。提供勞力。擴張該路。幅二十尺。長凡二甲餘。該一部分竣功。去七日[illegible]沼郡守。由各街庄長前導。視察該路擴張工事實況。

舉上棟上

羅東登記所。現建築中。九日午後三時。在該所前舉上棟式。

合格七名

臺北州立農業傳習所。客年十二月施行試驗。而羅東郡下合格者。即羅東街。冬山庄及三星庄各一名。五結庄四名。計七名。

物價高貴

市內物價。十月初旬最低。中付穀價昂騰。一般物價均見高昂。現生豚一圓六斤半。約騰三成。白布一圓七十錢。高騰四成。綿紗二二成。地瓜簽百斤二圓四十錢。高騰七成。豆粕一圓七十錢。騰五成。麵粉三圓。騰五成。惟生鴨一圓五斤。因穀價高貴。轉覺多耗飼育。且冬節以後不育卵。現一圓七斤。反見價賤。信魚卵一斤二圓二十錢。爲不景氣。顧客稀微。刻下跌至八九十錢云。

嘉義
農校行事

嘉義農林學校。訂十日午前八時起。在同校。開第八回農林產物品評會。並成績品展覽會。尙當日有蔬菜。木苗。精米等販賣等。

總會日程

嘉義郡下各信用組合定期總會。各組合豫定日程列左。十五日月眉潭。十六日中埔。十八日民雄。十九日小梅。二十日大林。二十一日竹崎。二十二日溪口。二十三日新巷。二十五日水上。二十六日番路。二十九日大埔等云。

婦人交禮

嘉義婦人會及愛國婦人會嘉義幹事部。新年祝賀交禮會。訂十日午前十一時。開於公會堂。參加人員約二百名。

中壢
消防出初

中壢壯丁團之消防出初式。六日午前八時半起。在郡役所構內。先點檢人員服裝器具。次消防實演。終則友田課長講評訓示。朱街長之酒肴料授與及祝辭等。十時頃盛會裡散會。

武術開始

中壢郡警務課。六日午後一時起。在武德殿。開始武術。友川課長。述開會辭後。次柔道以高橋教師。劍道以岡部教師。審判開始。至午後四時半。盛會裡散會。又同課七日起。二週間。每朝五時半至六時半。於武德殿。練習武道。

詩壇

曉鷄聲　李逸初

日上桃都應候鳴。人間同和一聲々。清音給就昇平象。沾氣推殘亂學棄。萬里河山皆啓泰。千家門戶共生明。祝生無龍中庭立。極目扶桑罨霧輕。

○　劉添貴

大地陽回曙色明。金鷄喔喔滿江城。欣他共帶昇平調。○預卜豐年是此聲。

全鷄報曉喜春晴。酒酣居蘇慶太小。一例喧々聞四境。相求相應又相鳴。

天河洗甲圖　鄭蓬齋

太平日十幾千秋。甘腦相爭輒罕休。戎馬喜隨天左幹。妖氣漸逐火西流。橫碧洛垣烏韻。袍浣征塵倩女牛。欲寫升平新氣象。人工尙待化工不。

楊君煥彩華甲壽言

天隨　久保得二

恰逢甲子一周時。高節應看松柏姿。水口北山宗北苑。蒲農簷窗立東籬。既完婚嫁今無累。仍究詩書定有爲。財得朱顏憑〃〃。悠々百歲更相期。

次韻似市村器堂先生

平生心處似則程。趁約重遊仍獨征。偏喜無憂身倍健。果然有志事終成。天低浸[illegible]孤鴻影。臘盡炎荒萬里情。聞道瀋陽烽火急。與君[illegible]夜話兵。

次韻酬小倉簡齋

生涯萍梗與誰親。佳句滿囊聊自珍。欲對江山縱能詠。例隨僕馬趁風塵。月明烏鵲苦蕭宿。波暖鴛鴦仍避人。回首歐閩消雲杳。昨游如夢發猶新。

除夕感懷

年々此夕易銷魂。憔悴如今百感繁。老後偏驚四時速。病除猶喜一身存。鄭居夜永燈無燄。寥闊天寒猶有痕。迎撥迎春趁家例。雞鳴明日入三元。

第三字乡用拗體。除夕詩尤佳。　一羽無雙評

英美滙水　九日

英美新水	三弗四〇仙四分一

金塊行情　九日

上海金現	六九五兩

銀塊行情　九日

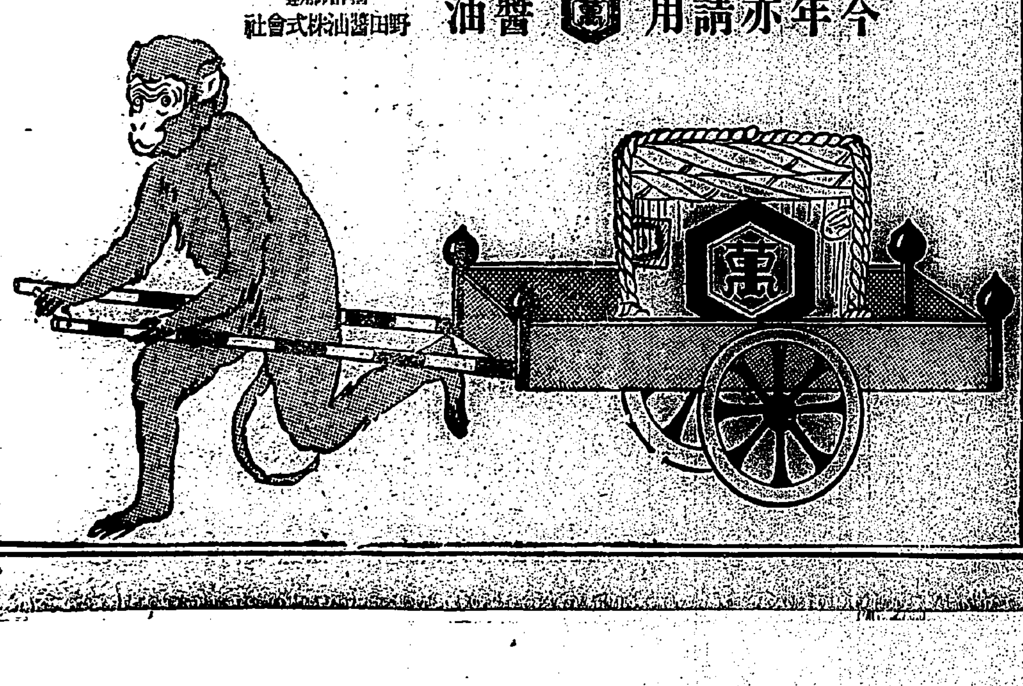
倫敦現物	一九片一六分一五
同先物	一九片二六分二五
紐育現物	三〇仙一六
同先物	三一仙九九
大連現物	六九圓五錢
同先物	六九圓六〇錢

對外滙水　九日臺灣銀行調

倫敦電信賣	二志〇片八分二
紐育同	三四弗四分一
孟買同	一二〇留比
新嘉坡同	一一八圓
爪哇同	九〇圓
馬尼剌同	一四五圓
上海（同參考銀）	七九七兩　七五四四分三
漢口參考銀	八九兩
福州同	七八四四分三
厦門同	七六四四分一
汕頭同	七六四分一
香港同	七七四四分一
廣東同	七十四四分一

漢文臺日案內

婦人オーバー　辻島屋
大平二派出所南隣電話三八二八番

大家恭禧
今年亦請用 醬油
野田醬油株式會社